

○池田(実)政府委員 昭和二十一
年度分ノ所得税ニ付キマシテハ、
三月三日財産價格カラ控除致シマ
シテ財産税ヲ計算致シマス

○奥村委員 次ニ昨日ノ質問ニ依
リマシテ、新聞ノ所得ニ付テハ所
得税其ノ他ノ方法デ税ヲ取ルト云

フコトヲ言ハレマシタガ、私ハ財産税ノ調査或ハ所得税ノ調査ニ於テ、新圓所得者ニ付テハドウシテモ税ノ捕足ガ出来ヌト考ヘマス、ナゼカナレバ、今年三月ノアノ臨時財産調査令ニ依リマシテ、個人調べテ居リマス、併シ其ノ特ニ命令ヲ以テ定メル事業ニ付テノミ動産ヲ營業ヲ行フ所ノ商人デアル、商品以外ノモノハ御調査ニナツテ居ラヌ、昨年ノ財産税發表以來、御承知ノ新聞ニモ出テ居リマシタヤウニ、非常ニ換物思想ガ擴ツテ、所謂脱税ノ爲ニ物ヲ買込ンデ居リマス、是ハ渥然タル事實、ソレガ爲ニ、物價ガ何脣倍ニトツテ、居リマスルガ、是等ノモノハ商品トシテ買入レテ居リマセヌ、此ノ品物ガ調查以後ニ於テ新圓ニ依ツテ闇デ賣ハレマス二十一年度ノ所得ハ、昨年ノ所得ノ實績ニ依ツテ御調べナル筈デアリマス、此ノ三月以後ニ於テ買占メタ物ヲ賣ツタ新圓ニ付テハ、調べヤウガナイト思ヒマ

スガ、其ノ點具体的ニドウ調べル
カ御返事ヲ願ヒタイト思ヒマス
○池田(勇)政府委員 新聞ノ所得
者ト申シマスルカ、言葉ハ惡ウゴ

ザイマスガ、新聞ノ所得者ニ二通
リアルト思ヒマス、今御話ノ通り
ニ、二月三日以後ノ行爲ニ依リマ

シテ所謂生産トカラセノ行爲ニ依リマシテ新聞ヲ澤山取得シタ方、又御話ノ通りニ、財産税發表後物資ヲ買込ンデ三月三日以後ニ於テ新聞デ賣シタ人、斯ウニ通リアルト思ヒマス、三月三日以後ノ生産或ハ取引等ニ依リマシテ新聞ヲ非常ニ獲得シタ方ニ付キマシテハ、昭和二十二年分ノ所得トシテ課稅致シマスサウシテ財產稅發表後、昨年ノ暮カラ三月マデニ非常ニ物ヲ買込ンデ、其ノ後ニ賣ツテ書或ハ調査ニ依リマシテ可ナリ調べ得ルノデゴザイマス、サウ云フ調査致シマス、又斯ウ云フ方ハ投方ヲ調べマシタラ、其ノ方ノ終戦新圓ヲ獲得セラレタ方ニ付キマシテハ、出來得ル限り其ノ人ニ付テテ居ル場合ニハ、其ノ預金ノ行方ヲ調べル方法ガアルノデアリマス、私ハ財產稅草案發表ノ場合ニ、政府發表トシテサウ云フ點モ發表致シタカツタノデアリマスガ、餘りニ行キ過ギルト云フ考へ方モアリマシタノデ、發表ハ致シマセヌデシタ、稅務當局ト致シ

シテハ、隠匿物資デ新聞ヲ稼イダ
ヤウナ人ニ付キマシテハ、預金ノ
出入リ等ヲ十分調査シ、其ノモノノ
ニ付キマンテハ材垂兎ノ税免票集

ニ入レマスカラ、サシタル脱税ハ
行ハレナイト考ヘテ居リマス

満足デアリマス、モット眞實ニ向
ツテ率直ニ御答辯ヲ願ヒタイト思
ヒマス、ナゼカナラバ財産税ニ於
分ハ、十圓マデノ金ハ全部御調べ
テ銀行、或ハ郵便局、或ハ現金其
ノ他總テノ預金或ハ證券ニナツタ
ニナツタ筈デアリマス、是ハ完全
ニ調べラレテ居ル、所ガ物ニ依ツ
テ買占メラレテ居ルモノ、後ニ新
圓デ以テ賣買シタモノニ付テハ、
是ハ調べガ付カヌ、ソコデ其ノ物
ヲ後程新圓ニ依ツテ賣ツタト云フ
者ニ付テハ、昭和二十二年度ノ所
得稅デ御取リニナルト云フコトデ
アリマスガ、財產稅ト所得稅トハ
別モノデアリマス、財產稅トシテ
ハ、ヤハリ物ニ於テモ、金ニ於テ
モ一應御取リニナルベキデアリマ
ス、昭和二十二年度ノ所得ト云フ
モノハ、一旦金錢ニ於テ財產稅ヲ
課ケラレタモノニ對シマシテモ、
レルト云フコトハ、是ハ紛レモノナ
アリマス、即チ財產稅ダーハ、換
物デヤラレタ人ダケガ財產稅ヲ脱
ハナイカト思ヒマス、モウ一ツ銀

行其ノ他ノ預金ヲ御調ベニナツ
テ、トクニ金ノ引出シガ多過ギル
トカ、入りガ多過ギルトカ云フコ
トニ表ツデ、其ノ入ノ所見ヲ御問

ベニナルト云フ御話デアリマスル
ガ、是ガ一人々々ノ場合ニ於テ事
實ナアリニナムカナゾニカ、

云フコトハ、是ハ常識判断出來ル、ソレハ一應ノ御答辯アラウト思ヒマス、第一サウ云フ銀行、郵便局ナドヘ預ケル人ハ、幾口モ分ケテ預ケルトカ、或ハ銀行、郵便局ヘ預ケテ居ラズシテ、新圓デ持ツテ居ルデハアリマセヌカ、サウ云フ者ニ對シテドウ御調ベニナルカ、其ノ點ニ付テモット率直ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス○池田(勇)政府委員 所得稅ト財產稅ノ課稅ノ對象ノ問題デゴザイマスルガ、初メ申上ゲマシタ三月三日以後、或ハ又其ノ直前カラ生産又ハ商取引行爲ニ依リマシタ所得ニ付キマシテハ、昭和二十二年分カラ所得稅ヲ課稅スルノデアリマス、今年ノ所得ニ對シマシテハ二十二年ニ課稅スルノデゴザイマス、二十二年分トシテハ課稅ニアリマセヌ、別ノ問題ノ昨年カラ舊圓デ物ヲ買占メテ置イテ、サウシテ新圓時代ニ其ノ買占メタ物ヲ御賣リニナツタ場合ニ、其ノ方ガ營業者デアレバ、勿論所得稅モ營業稅モ課稅シマスガ、單ニ其ノ人ガ營業者デモ何デモナイ、金ガアルカラ物ヲ買ツテ置カウ、サウシテ

賣ラウ、斯ダ云フ一時的ノ行爲ニ
付キマシテハ、所得稅ハ課稅出來
マセヌ、サウシテ問題ハ三月三日
ノ才善院ノ税院ニシテレバ

人財両税ノ勝利ナルノテアリマ
スルカラ、サウ云フ物ヲ買占メタ
人ニ付キマシテハ、極力買占メタ

買占メタ事實ハ、色々ナ方面カラ
デモ分リマスガ、サウ云フ材料ヲ
以チマシテ的確ニ調ベルノニハ、
預金ノ出入リガ一番便利ヂヤナイ
カト考ヘテ居リマス、是ハ實際間
題トシテ、ソレナラ稅務官吏ガソ
コマデ出來ルカト云フコトニナリ
マスガ、我々ハソレヲ努メテヤリ
タイ、隨テ財產稅法案ガ通過致シ
マシタラ、優良ナ素質ノ良イ民間
ノ方々ヲ出來ルダケ澤山稅務官廳
ニ入レマシテ、サウ云フ調查ヲ致
シタイト思フノデアリマス、財產
稅ノ調査ハ御承知ノ通リ金錢の債
權等ニ付キマシテハ三月三日殆ド
根コソギ致シテ居リマス、サウシ
テ殘ルモノハ土地、建物、機械、
設備商品デゴザイマス、之ニ付
キマシテモ、土地、建物ハ稅務署
ニ臺帳ガゴザイマス、設備ニ付キ
マシテハ有形ノモノデアリマスカ
ラ、其ノ調査ガ出來マスガ、商品
ガ難カシウゴザイマス、隨テ商品
ニ付キマシテハ、三月三日現在デ
申告ヲ求メテ居リマス、デアリマ
スルカラ大體ノ網ヲ張リマシテ捕
マヘテ居ルノデアリマスガ、捕マ
ニ付キマシテハ、三月三日現在デ
申告ヲ求メテ居リマス、デアリマ
スルカラ

舊國時代ニ物ヲ買込ミマシテ、サ
ウシテ預金トシテハ申告ノ漏レテ
居ルモノヲドウスルカト云フ問題
デアルト思フノデアリマスガ、ソ
レニ付キマシテハ先程申上ゲマシ
タヤウニ、極力銀行其ノ他凡ユル
手ヲ通シテ調ベル積リデ居リマ
ス、現在モ相當調べ居リマス、
偶ニ行過ギマシテ何處カノ委員會
デ問題ニナリマシタガ、營業者以
外ノ人ニサウ云フコトノ調査ヲ始
メタノデ、物議ヲ醸シタ例モアル
ノデアリマスルカラ、我タトシマ
シテ、サウ云フ方面ニ相當ノ精力
ヲ使ツテ、所謂財產稅ノ課稅標準
ヲ過誤ノナイヤウニ致シタイト考
ヘテ居リマス

依ツテ慌テ、賣ツテ居リマス、サノ
ウシテ新圓ヲ持ツテ居リマス、新
圓ハ恐ラク八割マデハ手ニ持ツテ
居リマス、預ケテ居ラズ、ソレ等
ニ付テ極力御調ベニナルト云フ御
言葉ノ結構デアリマス、併シ事質
ノ面ニ於テ、是ハ調ベルコトガ出
來ヌ、調ベルコトガ出來ヌノチ
ラ、出來ヌト素直ニ是ハ御認メニ
ナツテ戴キタイ、ソレデ結局新圓
ヲモウ一度何トカシテ調ベル工夫
ハナイカト云フコトヲ、我々ハ考
ヘテ見タイト思ヒマス、此處デ御
當局ヲ責メルト云フ譯デハアリマ
セヌガ、我々トシテ如何ニモ金デ
持ツテ居レバ總テ稅金ガ謀カル、
物ヲ持ツテ居レバ總テガ有利ニナ
ルト云フ國民ノ此ノ思想ニ對シ
テ、我々ハ鬪ツテ行カナケレバナ
ラヌト思フノデアリマス、之ニ對
シテ當局トシテ飽クマデモ物ヲ持
ツテ居ツタ財產ニ付テ十分調べテ
財產稅ガ課ケラレルト云フ自信ガ
オアリニナルカドウカ御伺ヒシ
マヌ

マスレバ、我々ハ自信ヲ持チタリテ、出来ルダケ調べマス、サウシテ自信アルト申上ゲテモ差支ヘナリト思ヒマス、併シ徵稅ノコトタリヤ中々何處マデノ自信ガアル、何處マデノ調査ガ出來テ居ル、何處マデガ不完全ト云フ區別ガ付ケ得ラレナイ、我タトシテハ何處マデモ調査致シマシテ課稅ノ適正ニ對スル自信ハ持ツテ居リマス、此ノ適正ナ課稅ノ結果トシテ調査致シテ、國民ガ一致協力シテ此ノ課稅ノ執行ニ御援助御協力ヲ期的ノ稅ノ執行ニ御援助御協力ヲ願フヨリ外ナインデアリマス、三月三日ノ五千圓ト云フモノノ標準ガ如何ナルモノデアルカ、丸公ナリヤ否ヤト云フコトデアリマス、是ハ三月三日ニ限界價格ヲ發表致シマシタ、ソレニ據ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、限界價格ノナイモノハ實際ノ取引價格ト云フコトニ致ナテ居リマス

リマセヌ、隨ヒマシテツノ命題ノ下ニ新聞ガドレダケ徵收キレルカト云フコトハ御答ヘシテ兼ネルノデアリマス、補償打切、財產稅ノ内容ガ發表ニナリマシテモ、新聞ヲドレダケ財產稅トシテ徵收出來ルカト云フコトハ相當困難ナ問題ダト思ヒマス

○奥村委員 併シ此ノ問題ニ付キマシテハ、先般大藏大臣ガ補償打切及ビ財產稅ノ徵收ニ依ツテ相當通貨ノ收縮ガ出來ルト云フコトヲ言ハレマシタノデ、ソレニ關聯シテ御尋ねシタノデアリマスガ、ソレデハ此ノ問題ハ大藏大臣ガ御越シニナリマシテカラ大臣ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

ソレデハ今年度ノ財政ガ非常ニ膨脹シ而モ赤字財政デアリマスカラ、一方貯蓄ト云フコトニ付テハ餘程ノ努力ガ要ルト思ヒマス、特ニ農村漁村ニ於ケル貯蓄ト云フコトガ非常ニ大切ナ問題デアリマス、ソレニ付テ申上ゲタイト思ヒマスルガ、今マデノ貯蓄方法ハ全然駄目デアリマス、何故ト申シマス、ソレニ付テ申上ゲタイト思ヒマスルガ、今マデノ貯蓄方法ハ全然駄目デアリマス、何故ト申シマスレバ、一般國民ノ通貨ニ對スル觀念ガ根本カラ變ツテ來タ、是ハ今年ノ三月三日ノアノ措置ニ依ツク火ヲ燈シテ來タモノデアリマス、所ガサウ云フ何十年ノ苦勞ノ中へ入レテチマヽト溜メテ所謂結晶ヲ全部銀行へ預ケサシタ、預

コトニシタ、而モ農漁村ニ於テハ殆ド引出シヲ禁ジテ居リマス、隨テソレダケノ苦勞シタ金ヲ全部國家ニ取上ゲタト同様ノ處置ニナツテ居ル、而モ今日通貨ノ價值ガ下落シテ物ヲ買ハウニモ買フコトガ出来ナイ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、金ヲ溜メヨウト云フ思想ハモウ根本カラ崩レテ居ル、生半可士獎勵策デハ通貨ノ貯蓄ハ出来ヌト思ヒマスガ、之ニ對シテ大藏當局ハ如何ナル對策ヲ持ツテ居ラレマスカ

○奥村委員 財政支出ニ於テハ、
全部新圓デ支拂ハレルト云フ御話
デアリマスルカラ、國民經濟ニ對
シテ大體七百億程度ノ新圓ガ今年
度一年間ニ出サレル、ソレヂヤ是
ノ吸收ノ面ニ於テハドウデアラウ
カ、今年度ノ租稅ニ於テ舊圓デ吸
收スルノモアル、新圓デ吸收ス
ルノモアル、ハツキリシタ數字ハ
捉ヘラレマセヌガ、大體半額ト見
テモ百五十億程度ノ新圓ガ吸收サ
レルガ、後ハ舊圓デ吸收サレルモ
ノト考ヘマス、此ノ點ハ五十億位
ハ違フカモ分リマセヌ、ソレカラ
財產稅ノ徵收ニ於テ、是ハドノ程
度新圓ガ入ルト云フ御見込デアル
カ、財產稅ノコトニ付テハ分ラヌ
ト云フ御言葉デアリマスルガ、此
ノ七百億ノ財政支出ニ對シテ、下
レダケノ新圓ガ吸收サレルカ、又
其ノ中ドレダケガ貯蓄ニナルカ、
ドレダケガ赤字ニナルカト云フコ
トニ付テ、大體ノ御見込ガ立ツテ
居ラナケレバ、國民トシテ到底此
ノ財政ニ對シテ安心ガナラヌト思
ヒマスルガ、其ノ御説明ヲ願ヒ
マス

タノデアリマシテ、私トシテモド
レダケニナルカ今カラ豫測ハ付キ
マセヌ、併シ只今ノ所デハ財産稅
收入等ニ依リマシテ、赤字公債ヲ
出サズニ濟ンデ居ルノデアリマ
ス、第二ノ政府ノ歲出ガ新圓ニア
レバ、其ノ歲出ニ相當スル額ヲ租
稅收入デ取レルカト云フ御話デゴ
ザイマス、勿論一般會計ノ歲入租
稅收入ダケデハ足リマセヌ、外ニ
政府ノ歲入方法ハ森林等色ンナ歲
入科目ガアルノデアリマス、ソレ
ガ統計デ三百六億ニ粗成ツテ居リ
マスルガ、其ノ他ノモノニ付ギマ
シテハ所謂財產稅收入カラ賄ツテ
行クノデアリマス、而シテ財產稅
收入ハ只今幾ラニナルカト云フヨ
トハ申上ゲラマセヌ、實ハ此ノ
頃毎日其ノ點度關係方面ト折衝致
シテ居ルノデアリマス、免稅點ニ
於キマシテモ五萬圓ト新聞ニ言ハ
レ、或ハ十萬圓ト言ハレテ居リマ
ス、實際私自身ガマダドチニ決
メヨウカト決メ兼ネテ居ル狀態デ
アリマスノデ、隨テ財產稅收入幾
財產稅ハ相當ノ收入ガアリマス、
免稅點ノ問題デナシニ第二封鎖預
金ヲ財產稅カラ如何ニ取ルカニ依
リマシテ、相當變ツテ來ルノデア
リマス、而モ又第二封鎖預金ガド
ウ云フ風ニ残ツテ來ルカト云フコ
トハ中々豫想ガ付キ兼ネマス、隨

百億ノ赤字ハ財產稅デ賄ヘルコトハ確カデゴザイマス、而シテ其ノ財產稅ノ收入ガ新圓デ入ツテ吳レシ承知ノ通りニ、財產稅收入ハ相當歳出ヲ全部吸收シ得マス、併シ財物納ヲ覺悟致サナケレバナラマサ又、隨テ物納致サレマシタ物ハ、サツキ申シタヤウニ極力新聞所有者ニ買ツテ滅ク、サウシテ新圓ヲ吸收スル、尙ソレガ今年度ニ出來ナイ場合ニハ、大藏省證明デ泳イデ行クヨリ外ニナイト想フノデアリマス

御話ノヤウニ非常ニ舊圓時代ニ於テ買ツテ、サウシテ其ノ物ヲ摘收テ居ラレバ、三月三日ノ財產税ニ依テ財產ニ加算サレタ方ガ、偶ニレフ御賣リニナツテ、新圓ヲ持テ居ラレバ、新圓デ財產税ニ徴收税ハ入ツテ來マスデセウ、各人名様デアリマスノデ、一概ニハ申ダゲ兼ネマスガ、財產税ノ徵收一一封鎖預金カラ納メテ戴キマス、國債デモ納メテ戴キマス、新圓三納メテトサレバ最モ喜バシイ現象ダト思ヒマス

「インフレ」ノ昂進シテ居る狀態ニ於テ、今ノ稅制ノ實際ト云フモノハ果シテ適切ニ稅金ヲ取ツテ居ルカ、又「インフレ」ニ對シテ置去リヲ食ツテ居ラヌカト云フコトヲ非常ニ心配シテ居リマス、此ノ點ニ付テ閣ノ問題、ソレカラ脱稅ノ問題、此ノニツヲ御伺ヒシタイント思ヒマス、大藏大臣ハ物價ニ丸公ト閣ヲ入レアルト云フコトヲ言ハレタ、是ハ大臣御認メニナツテ居ラレマス、稅務御當局ニ於テハ、體丸公ト閣、ドチラヲ其准トシ、ドチラニ稅金ヲ取ツテ居ラレルカ、大體國民ノ質收ニ對シテ稅ヲ課ケルト云フ御方針デアリマスルカ、閣ニモ稅ヲ御取りニナルト云フ御話ニ伺ツテ居リマスルガ、御當局トシテハ丸公ニ依ル物ノ流レト、閣ニ依ル物ノ流レト、大體ドノ程度ノ比率ニナツテ居ルカ、又之ニ對シテ實際ドウ云フヤウナ徵稅ノ御方針ヲ立てテ居ラレルカ、果シテ閣ヲ逃サズニ捕捉出来るルカ、此ノ點御説明願ヒマス

テ居ルノハ能クゴザイマセヌ
デ、實ハ毎日ノヤウニ暇ヲ見テハ
關係方面ニ行ツテ居ル次第アリ
マス、判リマシタラ早速公表致シ
マンテ御質問ニ應ズルコトニ致シ
マス

次ニ今ノ經濟狀態デハ財政カラ
考ヘテモ安心出來ナイヂヤナイ
カ、洵ニ其ノ通リデゴザイマシ
テ、我々モ安心出來ナイ、非常ニ
危險ナ狀態ダト考ヘテ居リマシ
テ、出來ルダケ危險防止ニ力ヲ盡
シテ居ル次第ゴザイマス、「イン
フレ」ノ狀態ニ於ケル稅制ノ問
題、是ハ只今ノ稅制ガ果シテ「イン
フレ」ノ狀態ニ副ウテ居ルカド
ウカト云フ問題ニ付キマシテハ、
相當議論ガアルト思ヒマス、少ク
トモ前年ノ實績デ所得稅、營業稅
等ヲ課稅スルコトバ「インフレ」
狀態ニ副ウテ居ナイト云フ議論ノ
方ガ強ウゴザイマス、我々モソチ
ラニ味方致シタイノデアリマス
ガ、然ラバ前年實績課稅ヲ豫算課
稅ニ改メタ時ニ、「インフレ」時
ニ於ケル稅制トシテ實際效果ヲ舉
ゲ得ルカドウカト申シマスルト、
中々效果ハ舉ゲラレマセヌ、「イン
フレ」ニ勝ツ稅制ハ殆ド出來ナ
イノデアリマス、唯強ヒテ言ヘ
バ、今ノヤウニ實績課稅ヨリモ豫
算課稅ニシテ置イタ方ガ或ル程度
副ヘルト云フ狀態デゴザイマス、
隨ヒマシテ今後直接稅、殊ニ所得
稅ノ問題ニ於キマシテハ、實績課

税ヲ豫算課税ニ改メルカドウカト云フコトハ研究スペキ重要ナ問題
ダト思ヒマス、唯申上ゲマスガ、
「インフレ」ガ續イテ行クカラ豫算課税ニ改メル、斯ウ云フ意味デ
アリマセヌ、豫算課税ノ方ガ實際ニ副ゾノデハナイカト云フコトハ
研究スペキ題目ダト考ヘテ居ルノデアリマス

付キマシテハ實收入主義ニ依ツテ居ルノデアリマスカラ稅務署ハ之ニ課稅致シテ居リマス、而シテ閣ト公定價格トノ課稅ノ比率如何ト云フコトデアリマスルガ、只今マデノ御話デ御判リニナルヤウニ、
閣ヲナスツテ居ナイ方ニ付キマシテハ公定價格バカリニ依ツテ居ラマス、閣ニ類シタ行爲ヲヤツテ居ラレル方ガアレバ、其ノ閣ニ類シタ行爲ガ多ケレバソレガ課稅標準ニナツテ居ル方モアリマセウ、個人々々ノ商行爲、其ノ他ノ取引ノ實情ニ依ツテ決メナケレバ御答へ出來ナイト思ヒマス

○奥村委员

ハ實收入主義ニ依ツテ
リマスカラ稅務署ハ之
テ居リマス、而シテ
トノ課稅ノ比率如何ト
アリマスルガ、只今マ
御判リニナルヤウニ、
テ居ナイ方ニ付キマシ
格バカリニ依ツテ居リ
類シタ行爲ヲヤツテ居
アレバ、其ノ間ニ類シ
ケレバソレガ課稅標準
ル方モアリマセウ、
商行爲、其ノ他ノ取引
ツテ決メナケレバ御答
ト思ヒマス

魚ニ付テハ稅務署ガ全部御調查ニ
ナツテ、ソレノ供出者ニ對シ稅金ヲ
課ケ、又販賣者ニ對シ稅金ヲ
課ケテ居ラレマス、所ガ販賣所ヘ
水揚ゲセヌ人ニ對シテハ稅務署ハ
調ベヨウニモ調べガ付カヌ、隨て
闇ノ所謂横流レニ對シテハ稅金ガ
課カツテ居リマセヌ、ソレハ如何
ニ課ケヨウトシテモ是ハ事實課カ
リマセヌ、サウ致シマスト販賣所
ヘ供出シタ者ハ丸公デ魚ヲ揚ゲ
而モソレニ對シテ高率ノ稅金ガ課
カル、闇ニ對シテハ丸公ノ何層位
ニ賣ツテ而モ稅金ガ課カラスト云
フ狀態ニナツテ、ソレガ爲ニ益ミ
魚モ販賣所ヲ避ケテ闇ニ流レルヤ
ウナ事情ニナツテ居リマス、又牛
程御尋不シタノハ、全體ノ物資ノ
流レニ付テ、丸公デ物資ガドレダ
ケ流レルカ、闇デ物資ガドレダケ
ト闇ノ流レデハ恐ラク闇ノ流レノ
方ガ多イモノト認メマス、闇ノ流
卵、牛内、野菜、魚、其ノ他凡ユル物
資ヲ眺メテ見マスト、丸公ノ流レ
ニナツテ居ラレマスカ、又是等ノ
狀態ニ對シテ如何ナル方針ヲ執ツ
テ居ラレルカ、御伺ヒ致シマス
○池田(勇)政府委員 政府ガ闇ノ
對シテ課稅致シマセヌト云フコト
ハ、卑近ナ例デ申シマスト拘摸セ
盜人ノ所得ニ對シテ課稅シナイコ
トト同ジデアリマス、サウシテ闇
ヲヤツタトシカ思ヘナイヤウナ課

二二

ルルト仰シヤイマスガ、
カハ闇ヲセツタと思ハレ
カデゴザイマス、次ニ正
トニ入レタ者ニ對シ
高率ノ課稅ヲスルガ、其
ニ入ラヌデ横ニ流シ
課稅シナイハ不當デ
此ノ點ハ闇課稅ノ問題
、セヌ、稅務ノ調査技術
ザイマス、我々ハ斯カ
云キマシテハ出來ルダケ
訏稅シナケレバナラヌト
唯調査ガソコマデ行ツ
云フコトハ洵ニ遺憾ナ
マスガ、將來ハサウ云
マシテモ十分所得稅或
兎ノ保スルヤニ努力

サウ云フ方ハ闇ヲセツタと思ハレルヤウナ方デゴザイマス、次ニ正式ノ「ルート」ニ入レタ者ニ對シマシテハ高率ノ課稅ヲスルガ、其ノ「ルート」ニ入ラヌデ横ニ流シテ居ル方ニ課稅シナイノハ不當デハナイカ、此ノ點ハ闇課稅ノ問題デハアリマセ又、稅務ノ調査技術ノ問題デゴザイマス、我々ハ斯カル場合ニ於キマシテハ出來ルダケ調査シテ課稅シナケレバナラヌト思ヒマス、唯調査ガソコマズ行ツテ居ナイト云フコトハ洵ニ遺憾ナル點デゴザイマスガ、將來ハサウ云フ方ニ對シマシテモ十分所得稅或ハ其ノ他ノ稅ヲ課スルヤウニ努力致シタイト思ヒマス、又公定價格ノ取引ト間取引ノ總體ノ分量割合、此ノ點ニ付キマシテハ私申上ゲル程ノ材料ヲ持ツテ居リマセヌ、御諒承ヲ願ヒマス

締合トカラ色々法律ガアルニモ拘ラズ、殆ド閑放任ニナツテ居リマス、大藏省以外ノ方ハ閑放任デヤツテ居ルシ、大藏省ダケガ閑行爲ニ税金ヲ取ル、ソレデハ結局税金ダケガ「インフレ」ニ對シテ置去リヲ食フコトニナルト思フ、現實ノ事態ニ對シテ閑ニ税金ヲ課ケヌト云フコトデアリマスレバ、是ハ餘程糞眞面目ナ、正直ナ人ノミニ税金ガ課カル、閑ヲヤツチ肥ツテ居ル人ニハ税金ガ課カラヌ、事實ノ問題ニ於テハ是ハ非常ニ困ツタコトガ生ズルト思フガ、ドウ御考ヘデゴザイマセウカ

闇ニ課稅スルトハ言ヘマセ又、又
法律上課稅スベキデハアリマセ
又、併シ其ノ方ガ實際ニ闇ヲヤツ
テ居ラレタ場合ニハ、我々トシテ
ハソレガ皆闇ナリヤ否ヤト云フコ
トガ判リマセ又カラ、總收入金カ
ラ必要經費ヲ差引イテ課稅シテ居
ル、是ガ課稅ノ適正、公正ヲ期ス
ル所以デアリマス、附加ハテ申上
ゲマスガ、政府ガ闇ニ課稅スルカ
ラ米ノ供出ヲ阻ムヂヤナイカ、政
府ガ闇ニ課稅シテ居ルカラ闇ヲヤ
ラナケレバ稅金ガ拂ヒ得ヌデヤナ
イカ、斯ウ云フ論ヲ吐ク人ガアリ
マスガ、是ハ私ハ闇達ヒダト思ヒ
マス、是ハ昨年ノ實績ニ依ツテ課
稅シテ居ルノデアリマス、其ノ人
ガ闇ヲヤツテ相當ノ利益ヲ與ゲテ
居レバ、ソレニ對シテ課稅スルノ
ハ當然デアリマス、若シ之ニ課稅
シナカツクナラバ、ソレコソ本年
度ハ又闇ヲヤツテウント儲ケテ、
而モ公定デ稅金ヲ拂フト云フコト
ニナツテシマフノデ、私ハ實際ノ
問題ニ於テハ闇ニ課稅ヲシナケレ
バイカヌト思ツテ居ルノデアリマ
ス、ソコヲ御考ヘ違ヒナイヤウニ
吳レム、モ御願ヒシタイト思ヒマ
ス、某ガ闇ヲシタト云フ判決ガア
レバ負擔ノ衡平ガ取レナイノデア

リマス、又サウ云フ場合ニ課税ヲシナケレバ、閣ヲ助長スルヤウナモノデアル、却テ公定價格取引ナルノデゴザイマス、其ノ點誤解ノナイヤウニ御願ヒ致シマス
○奥村委員 實際上ノ御方針ニ付テハ能ク了承致シマシタ、併シ事實ノ問題トシテ、此ノ閣取引ノ收入入ト云フコトハ、非常ニ捕捉困難デアラウト思ヒマス、漁村ニ於テモ魚ノ横流シハ稅務署モ調バガ付カヌ、農村デモ本當ノ閣ヲサツヲ居ルノハ之ヲ押ヘルコトハ出來ヌ、ソレハ外ノ法律ヲ素シテヤウテ居ルノデスカラ、稅務署ニ調バルコトノ出來又コトハ當然デゴザイマス、都會ニ於テモ其ノ通リアリマス、是等ノ閣ニ付テ、恐ラク之ニ對シテドノ程度捕捉シテ課稅出來ルヤト云フコトニ付テハ、大イニ問題ガアラウト思ヒマスガ、是ハ此ノ程度ニ止メテ置キマス

ニナルカ、大柄ミノ所デ宣シイカラ御見达ヲ御話願ヒタイト思ヒマス
○石橋國務大臣 無論上ツテ居ルト思ヒマス、併シ何倍ニ上ツテ居ルト云フコトハ、一寸難カシクテ今御答へ致シ兼ネマス
○奥村委員 之ニ對シテ御答ノ難カシイノハ分リマスルガ、又或ル程度大藏當局トシテ、物價問題ヲ御考ヘニナツテ居ラレ、又特ニ物價ノ管轄アラレル方ガ全然見當ガ付カヌト云ノモ少シヲカシント思ヒマス、醸工品ナド丸公デ以テ昨年ト今年ト一箇年ノ中ニ十億モ上ツテ居リマス、肥料ノ如キハ十何倍モ上ツテ居リマス、其ノ他魚モ大體十倍上ツテ居リマス、野菜、果物モ上ツテ居リマス、平均シテ五倍以上ハ上ツテ居ルト思ヒマスガ、大藏大臣ハ五倍以上ハ上ツテ居ルト考ヘテ居ラレルカ、五倍以下ト思ハレルカ、其ノ程度ノ大柄ミナ御返事ハシテ戴カナケレバナラナイト思ヒマス

フコトハ、「ウエイト」ノ問題デ、米ガ幾ラ、魚ガ幾ラ、麥ガ幾ラト云フヤウニ考ヘナケレバナラヌト云フコトニナルト、御答ヘ致シ兼ネルコトニナリマス、實際因ツタコトデアリマスケレドモ、其ノ點ニ於テハハツキリシタ數字ハ分ラナイノデス、唯常識的ニハ御説ノヤウニ、五倍位カナ、十倍位カナト、サウ云フコトナラバ、御話ノヤウナ感ジハ持ツテ居ルノデスガナ

○**奥村委員** 大藏大臣ハ非常ニ御急ギノヤウデスカラ、物價問題ダケ極簡簡單ニ御伺ヒ致シマスガ、ソレデハ丸公ダケノ平均デ行ツテドノ程度上ツテ居リマスカ、此ノ問題ヲ考ヘテ行キマセヌト、此ノ稅ノ問題ノ審議ハ適切ニハ出來ナイト思ヒマス

○**石橋國務大臣** 實ハ幾ラニ上ツタカ私ハ指數ヲ知ラヌノアリマス、ソレハ事務當局ニ調べガアリマスカドウカ、其ノ方カラ御答ヘ致サセマス

○**奥村委員** 物價ノ主管廳デアル所ニ於テ、丸公ノ平均物價ノ値上リサヘモ御答辯シテ戴ケヌト云フコトハ非常ニ残念デアリマス、特ニ「インフレ」ノ昂進シテ居ル際ニ於テ是ハ困ル、昨年ノ實績ニ依テ所得稅ヲ御徵收ニナリ——租稅ハ大體昨年ノ實績ニ依ツテ行ク謂デアリマス、サウシテ財政ノ支拂ハ今年度ノ物價ニ對シテ支拂ハ

レテ行ク、斯ウ見テ居リマス、特ニ財政支出ノ大部分ハ人件費デアラウト思ヒマス、色々名目ハ變ツテ居リマセウケレドモ、結局端々ニ於テハ人件費ニ支拂ハレルモノト思ヒマス、所ガ其ノ人件費ノ大部分ハ今日ハ生活費デアリマス、生活費ハ今日食糧ノ配給ガ非常少クナツテ居ルカラ、大部分闇以テ賄ツテ居ルト思ヒマス、其ノ闇デ以テ賄ツテ居ル人件費ハ、膨脹スルノハ當然デアリマス、是ハ官廳ノ職員給料ニ於テモ、昨年度ヨリモ二倍乃至三倍以上上ツテ居ル苦ト思ヒマスガ、サウスルト、税ノ方デハ昨年度ノ實績デ税ヲ取リモ、支拂ノ方ハ何層倍ニナツテ居ル物價或ハ賃金ニ對シテ支拂フ、

○石橋國務大臣 稅ノ全部ガ昨年

ノ實績ニ依ツテ居ル譯デハアリマ

セス、デアリマスカラ、其ノ全部

ヲ昨年ノモノト見レバ御説ノヤウ

ニナリマスガ、併シサウデハナイ

ノデスカラ、御説ノヤウニナル譯デア

セヌガ、ソレハ鬼ニ角、物價ガ漸次上リツ、アル時ニハ少クトモ理

論的ニハ御説ノヤウニナル譯デア

リマス、隨テソレダケ財政ノ處理ハ非常ニ困難ニナル譯デアリマス

○奥村委員 大臣ハ御急ギノヤウ

デモアリマスシ、物價ノ見當ガ付

仕方ガアリマセヌカラ、次ニ局長ニ御尋ね致シマス
一一番問題ニナツテ居ルノハ公債ノ處理ノ問題デアリマスガ、之ニ云フ御話デアリマス、併シ何モ大衆ノ預金ニ迷惑ヲ掛ケルト対シテ大臣ハ、公債ヲ破棄シタナラバ大衆ノ預金ニ迷惑ヲ掛ケルト

云フ御話デアリマス、併シ何モ大

衆平等ニ預金ヲ持ツテ居ル譯デ

ハナイ、之ニハ相當高額ト少額トアル苦デアリマス、ソコデ銀行預

金、郵便貯金其ノ他ニ於テ、例ヘ

ハ預金ノ中一万五千圓以下、一萬五千圓以上ノ預金者ト云フヤウ

ニ之ヲ分類シテドノ程度ノ金額ニナツテ居ルカト云フコトヲ御調

べニナツタコトガアルカナイカ、又御調べニナル意思ガアルカナイ

カ、御伺ヒ致シマス

○池田(勇)政府委員 公債ノ利下

大藏大臣ハ如何ナル方針ヲ執ツテ居ラレマスカ

ソニニ財政ノ非常ナ赤字ガ出テ來

ル苦デアリマスガ、之ニ對シテハ

大藏大臣ハ如何ナル方針ヲ執ツテ居ラレマスカ

○石橋國務大臣 稅ノ全部ガ昨年

ノ實績ニ依ツテ居ル譯デハアリマ

セス、デアリマスカラ、其ノ全部

ヲ昨年ノモノト見レバ御説ノヤウ

ニナリマスガ、併シサウデハナイ

ノデスカラ、御説ノヤウニナル譯デア

セヌガ、ソレハ鬼ニ角、物價ガ漸

次上リツ、アル時ニハ少クトモ理

論的ニハ御説ノヤウニナル譯デア

リマス、隨テソレダケ財政ノ處理ハ非常ニ困難ニナル譯デアリマス

○奥村委員 大臣ハ御急ギノヤウ

デモアリマスシ、物價ノ見當ガ付

問題デアツタノデアリマス、御話

カヌノニ是レ以上議論ヲ致シテモ

仕方ガアリマセヌカラ、次ニ局長ニ御尋ね致シマス

一一番問題ニナツテ居ルノハ公債

ノ處理ノ問題デアリマスガ、之ニ云フ御話デアリマス

ハ各種金融機關、預金部等デアリ

マス、サウンテ預金部ノ資金ノ

中、殆ド八割餘ガ國債デアリマス

ノデ、郵便貯金ニ影響致シマス、

又全公債ノ中デ一般ノ會社、所謂

企業者並ニ個人ノ持ツテ居リマス

國債ハ百億足ラズ、九十億程度ト

見ラレテ居リマス、隨テ預金部並

ニ金融機關ノ公債ハ預金ノ見返リ

ニ相成ツテ居リマス、隨テ之ヲ切

リマスト、銀行ノ預金ガ國債ヲ破

棄シタダケ切ラレルコトニ相成ル

ノデアリマス、然ラバ切ラレル人

ハ誰カト云フ時ニ、一千萬圓ノ預

金者モ或ハ一萬圓ノ豫金者モ「ブ

ロット」ニ切ツテ行クカ、「ブリ

アビリチー」ニ切ツテ行クカト云

フ問題デアリマスガ、「ブリアビ

リチー」ニ切ツテ行クト云フコト

ハ、中々困難ダト思ヒマス、ナゼ

カト申シマスト、銀行ノ預金ハ數

千萬口ゴザイマス、併シ數千萬人

ノ異ナツタ人ガ預金シテ居ルノデ

モノデアリマスカ、又新シイ事態

ニ對シテ、此ノ重要事業ノ指定ヲ

御變ヘニナル御意思ハアリマセヌ

ニ變ヘテ行カレマスカ

○池田(勇)政府委員 日本ノ租稅

は相當研究致シマシタ、サウシテ

結局先般大臣ノ言ハレタヤウニ

ハ相當研究致シマシタ、サウシテ

國債ハ其ノ儘デ行カウト云フコト

ニ相成ツタノデアリマス、其ノ最

モ大キイ理由ハ、今後公債政策ヲ

ドウ云フ風ニシテ行クカ、其ノ場

合ニ舊國債全部ヲ棄スル譯デハ

ハ他トハ違ヒマシテ、稅制ニ各種

ノ預金モ、一日五千圓ヅ、預ケテ

居ラレル人モ相當アルノデアリ

マス、又ズツト昔カラノ預金ヲ見マ

ス、定期預金モ一人デ三千圓ノ

口ヲ數十口持ツテ居ラレル方モ、

間々アルノデアリマス、隨ヒマシ

タ爲、誰ガ破棄ニ依る損失ヲ被

ルカト云フ問題トガ、最モ大キイ

ト云フノハ、ソレ未滿ノ預金ガ幾ラ

免除ノ規定ガアリマス爲ニ、其ノ

税率ガ非常ニ數澤山ニナツテ居リ

マス、我々ト致シマシテハ餘り稅

ガソコマデ行クノハ、行過ギルト

常ニ言ツテ居ツタノデアリマス

ガ、戰時中ノコトデアリマスノ

デ、各種ノ減免規定ヲ置キマシ

ツテ外シマシタ、御話ノ重要物產

ノ增產等ニ付テ、ドンナ輕減規定

ガアルカト云フ御話デゴザイマス

ガ、問題ハ重要物產製造ト致シマ

シテ、概末軍備擴張、其ノ他戰爭

遂行ニ特ニ必要ナモノダケ、色々

ナモノヲ五十種類舉ゲテ居リマ

ス、又別ニ各種事業法デ、例ハバ

製鐵事業法トカ、工作機械法ト

カ、自動車製造事業法トカ、皆各

種ノ事業法デ免稅規定ヲ置イテ居

リマス、併シ敗戦後、昨年以來關

係方面ノ注意モアリマシテ、各種

事業法ノ免稅ハ取止メマシタ、ソ

レカラ又重要物產製造ニ對スルモ

ノモ極力止メマシテ、今後所謂重

要物產トシテ租稅ヲ輕減スル範圍

ハ、只今ノ所、石炭トカ金礦、或

ハ肥料、硫安トカ加里トカ、斯ウ

云フ肥料製造方面ヘノ輕減免除ノ

云フノデ、各種ノ輕減免除ノ規定

ノ經濟政策ヲ盛込ンデ居リマス、

云フノデ、各種ノ輕減免除ノ規定

は所謂租稅ノ經濟的原則ト申シ

コトヲ考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ

點ハ經濟界ノ整理後ノ狀況ニ依リ

マシテ、是非平和日本再建ノ爲ニ

必要ナ、而モ重要ナ事業デアルナ

ラバ、狀況ヲ見テ附加ヘテ行ク、

唯氣持ハ本當ニ必要ナモノタケ入

レテ行ク、斯ウ云フ考ヘノ時ツテ

居リマス

○農村委員 此ノ重要事業ニ付テ
ハ石炭、肥料其ノ他鐵山、其ノ外
ニ今後見返リ品ノ製造ニ付テハ、
相當ニ助成ヲセネバナラスト思ヒ
マスルガ、今回ノ此ノ規定ニ依ツ
テ設備新設三箇年間ノ免稅、之ニ
對シテハ大體今御方針ガ立ツテ居
ルモノナラバ、御聞カセ願ヘレバ
非常ニ結構ト思ヒマスガ、如何デ
スカ

○池田(男)政府委員 今回臨時租
稅措置法カラ、所得稅法ト法人稅
法ニ入レマシタ、設備擴張ニ依ル
増產ニ基ク免稅ニ付キマシテハ、
只今御話中上ゲタ程度ニシカ考ヘ
テ居リマセヌ、見返リ物資、増產
ノ爲ノ分ガ入ルカ入ラヌカト云フ
問題ハ、其ノ企業ノ性質竝ニ設備
ニ依ツテ考ヘタイト思ヒマス、例
ヘバ生絲製造ニ付キマシテ、是ハ
見返リ物資アルカラト云フノ
デ、當然ニソレガ入ルトモ決マツ
テ居リマセヌ

○農村委員 次ニ昨日局長ハ直接
稅ニ對シテハ、マダ增稅ヲスル餘
地ガアル、斯ウ云フ御話デアリマ
シタガ、是ハ私ハ少シ無理デハナ
カラウカト思ヒマス、例ヘバ十萬
圓ノ所得稅者ト致シマシテ、綜合
及ビ分類兩方ヲ入レマシテ、十萬
圓ノ所得ニ對シテ合計七萬圓課カ
リマス、サウスルト殘ル所得ガ三
萬圓ニナリマス、是ダケ見レバ、
十萬圓儲ケテ三萬圓ダケガ其ノ所
得者ノ手ニ入ルト云フコトニナリ

現在資本主義ノ狀態デアレバ、ド
ウシテモ利潤ヲ目的トシテ事業ヲ
行ウテ居ルノデアリマスルガ、是
レ以上ノ稅ハ事實ニ於テ無理デア
ラウト思ヒマス、是デ文句ナシニ
行ツア居ルトスレバ、ソコニ稅ガ
逃レテ行クトカ、色々ナ問題ガ必
ズ伏在シテ居ルモノデアル、實際
我々事業ヲヤツテ居ル者トシテハ
サウ見マス、是レ以上行クモノナ
ラバ、寧ロ是ハ國家デ以テ事業ヲ
ヤツタ方ガ宜イ、企業者ノ創意工
夫ト云フモノハ見テレモノト思
ヒマス、特ニ總額ニ於テハサウデ
アリマスルガ、又十萬圓ヲ超エタ
分ニ對シテハ、其ノ分ノ百分ノ五
十五ノ綜合所得ト分類所得ノ三十一
五ト、合計八十課カル譯ルデス、
一萬圓儲ケテ八千圓稅金ガ課カ
リ、アトノ二千圓ダケガ其ノ人ノ
所得ニナル譯デアリマスガ、此ノ
狀態デ行ツテ事業者ガ果シテ事業
上ノ儲ケニ付テハ八割マズ稅金ニ
ノ性質トシテ悲シイ哉行ハレルモ
ノト思フノデアリマス、若シ之ヲ
流セト云フノハ、是ハ人間ノ實際
行ハヌトスレバ稅ヲ逃レルト云フ

コトガ行ハレテ來ルト思フ、是ハ
餘リニ剔ツタ話デアリマスルガ、
斯ウ云フ問題モ一ツ考ヘテ行カナ
ケレバ、實情ニ即シタハ税課セラ
レヌモノト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、此ノ上ニ尙ホ税率ヲ上ゲルト
云フコトハ、少シ行過ギデハナイ
カト思ヒマスガ、局長ハ如何ニ御
考ヘニナラレマスカ

七ニナツデモサウ無理ナ負擔デハ
ナイノデハナイカ、併シ私ハ最高
税率九七ヲ上ゲルト云フノデハゴ
ザイマセヌ、マダノ物價ガ安定
シ、經濟ノ見透シガ付ケバ、二
萬、三萬、十萬程度位マデハ負擔
シ得ルト思フノデリマス、外國
ノ例ヲ申上ガルヤウデゴザイマス
ルガ、爲替相場ノ摺ミニ依ツテ
違ヒガアリマスルガ、從來ノ日本
ノ直接稅ハ一體ニ二、三萬、四萬
ドコロガ少シ弛ンデ居ツタ嫌ヒガ
アリマス、ソレト又極ク下ノ方ニ
緩イ嫌ヒガアルノデアリマス、是
ハ今後ノ物價事情、經濟事情カラ
考ヘナケレバ今一概ニハ申セマセ
ヌガ、過去ノ狀況カラ申シマスト、
サウ云フ狀況デゴザイマス、翻ツ
テ間接稅ヲ見マスト、各國日本ノ
ヤウニ間接稅ノ高イ所ハゴザイマ
セヌ、是ハモウ問題ニナラナイノ
デアリマス、昔「ダイヤモンド」
等ニ十割課稅ヲ致シマシタ、密
致シマシタ、併シ日本ニハ十割課
稅以上ノモノガ澤山ゴザイマス、
デゴザイマスカ、本當ニビツクリ
酒ナンカニ致シマシテモ何十割、
モウ百分ノ百ト云フ稅率ニハ日本
國民ハ餘リ驚カナイヤウニ麻痺セ
ラレテ居ルノデゴザイマシテ、私
ハ是非トモ、此ノ間接稅ハ財政ノ
許ス限り最モ早ク引下ゲナケレバ

ニ致シマシテモ「アメリカ」ノ二倍位ノ税率ニナツテ居リマス、
「ドイツ」モサウデゴザイマス、
「イギリス」ノヤウニ非常ニ間接稅ノ高イ國デモ、尙ホ課稅ハ日本ノ五分ノ一デアルノデアリマス、入場稅ニ付キマシテモ、物品稅等ニ付キマシテモ、日本ノ百分ノ百ト云フノハ向フデハ百分ノ二十、二割程度ガ間接稅ノ最高ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘマスト、是非トモ間接稅ヲモウ少シ引下ゲルコトガ一般大衆ニ宜イノデハナイカ、生活ガ樂ニ行クノデハナイカ、私ハ直接稅デ収ツテ間接稅デ引下ゲルト云フコトガ租稅政策ノ極致グト考ヘテ居リマスノデ、個々ノヤウナ點ニ付キマシンハ相當負擔ハ重ウゴザイマスガ、十萬圓ノ方ガ七萬圓程度ノ負擔ナラ此ノ際我慢シテ戴カナケレバナラヌ、ソレカラ御話ニ地方稅其ノ他ノ負擔ガアルト申シマスガ、營業稅等ハ損金ニ見テ居リマスカラ、所得稅ダケデハ三萬圓殘ルコトニ相成ツテ居リマス、唯問題ノ今度殖エマシタ市町村民稅、創設セラレタ府縣民稅ガ十萬圓ノ所得者ニ如何ニ課稅セラレルカト云フコトハ非常ナ問題デアリマスノデ、昨日地方局長ガ申シマシタガ、所得稅以外ニ課稅カリマスノハ

市町村民税ダケデゴザイマス、餘

談ニナリマシタガ、私ハ若シ増税

ヲシナケレバナラムト云フコトナ

ラバ、直接税ヲ増税シテ間接税ハ

引下グベキダト云フ考ヘ方ヲ持ツ

テ居ルノデゴザイマス

○奥村委員 御丁寧ナ御説明デ能

ク分リマシタ、併シ我々ガ今日最

モ注意シナケレバナラムノハ、机

ノ上ノ議論、所謂「ペーパー・ブ

ラン」ト實際トガ果シテ旨ク行ク

カ行カヌカ、ソレヲ能ク考ヘナケ

レバナラヌ、特ニ今日闇ガ行ハ

レ、或ハ物々交換ガ行ハレ、經濟

ガシレテ來タ時ニ於テ、一方表面

逃レタノデアツテ、税法ノ方ノ不

正ナ行爲ト云フヤウナコトニ該當

セヌヤウニ私ハ解釋ヲ致シマス

ガ、如何デアリマスカ

○池田(勇)政府委員 所得税法八

十八條ノ「詐偽其ノ他不正ノ行爲

ニ依リ所得税ヲ逋脱シタル者ハ」

トシテアリマスガ、闇取引ノ場合

ハ之ニ該當致シマスカ、只今ノ御

説明ニ依ルト、闇ハ稅ヲ逃レル爲

ニ依リ所得税ヲ逋脱シタル者ハ」

逃レタノデアツテ、税法ノ方ノ不

正ナ行爲ト云フヤウナコトニ該當

セヌヤウニ私ハ解釋ヲ致シマス

ガ、如何デアリマスカ

○奥村委員 モウ最後デゴザイマ

タコトハ殆ドゴザイマセヌ、私ニ

十年間稅務官吏ヲヤリマシテ一回

モ其ノ例ヲ聞キマセヌ、唯歴史ニ

ハ明治四十年代ニヤツタコトガア

ルト云フコトダケデゴザイマス、

適用シタコトハゴザイマセヌガ、

今後ハ此ノ罰則ヲ勵行シテ、サウ

シテ脱税ヲ少クスルヤウニ致シタ

マスガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

ヲ逃レテ居ルカラコソ此ノ増税ニ

モ我慢シテ居ルノデ、其ノ實際面

ヲ見テ戴イテ、是レ以上ノ増税ハ

事實徵稅困難デアル、是レ以上ヤ

ラレルナラ稅制ノ根本ヲ變ヘテ行

クベキデアル、是ハ御参考マデニ

申上ゲテ置キマス、ソレニ付テ御

詩ネ致シタイノハ、所得稅法第八

十八條ニ「詐偽其ノ他不正ノ行爲

ニ依リ所得稅ヲ逋脱シタル者ハ」

トシテアリマスガ、闇取引ノ場合

ハ之ニ該當致シマスカ、只今ノ御

説明ニ依ルト、闇ハ稅ヲ逃レル爲

ニ依リ所得稅ヲ逋脱シタル者ハ」

逃レタノデアツテ、税法ノ方ノ不

正ナ行爲ト云フヤウナコトニ該當

セヌヤウニ私ハ解釋ヲ致シマス

ガ、如何デアリマスカ

○池田(勇)政府委員 所得稅法八

十八條ノ「詐偽其ノ他不正ノ行爲

ニ依リ所得稅ヲ逋脱シタル者ハ」

逃レタノデアツテ、税法ノ方ノ不

正ナ行爲ト云フヤウナコトニ該當

セヌヤウニ私ハ解釋ヲ致シマス

ガ、如何デアリマスカ

○奥村委員 モウ最後デゴザイマ

タコトハ殆ドゴザイマセヌ、私ニ

十年間稅務官吏ヲヤリマシテ一回

モ其ノ例ヲ聞キマセヌ、唯歴史ニ

ハ明治四十年代ニヤツタコトガア

ルト云フコトダケデゴザイマス、

適用シタコトハゴザイマセヌガ、

今後ハ此ノ罰則ヲ勵行シテ、サウ

シテ脱税ヲ少クスルヤウニ致シタ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

デ、今後ハ立派ナ稅務官吏ヲ相當

増員致シマシテ、實情ノ把握ニ萬

全ヲ期シタイト思ヒマス、唯實情

ノ把握ニ萬全ヲ期シマスノニハ、

ノ把握ニ萬全ヲ期シマスノニハ、

如何ニ稅務官吏ヲ殖ヤシテモ中々

困難デゴザイマシテ、所謂下ノ方

カラ盛リ上ル力、斯ウ云フ力ノ御

援助ヲ戴カナケレバナラヌ、サウ

云フ方面ニ付キマシテ新シイ制度

ヲ今考ヘテ居リマス、所得ノ申告

ニ付キマシテモ日本ハ詐欺其ノ他

不正ノ行爲トカラ色々ナ罰則規定ヲ

置イテ居リマスルガ、之ヲ適用シ

タコトハ殆ドゴザイマセヌ、私ニ

十年間稅務官吏ヲヤリマシテ一回

モ其ノ例ヲ聞キマセヌ、唯歴史ニ

ハ明治四十年代ニヤツタコトガア

ルト云フコトダケデゴザイマス、

適用シタコトハゴザイマセヌガ、

今後ハ此ノ罰則ヲ勵行シテ、サウ

シテ脱税ヲ少クスルヤウニ致シタ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

ヲ出シテ居ル、斯ウ云フ風ナ方法

デ租税ノ脱税防止ニ努メテ居ルノ

目的ニ置イテ居ルダケ——间接税

ハ別デゴザイマスルガ、直接税ニ

ハ先程申上げマシタヤウニ殆ド名

目的ニ置イテアツテ、空文ニ等シ

イヤウナ實情デアツタノデゴザイ

マス、此ノ際所得税等ノ脱税防止

ニ直チニ適用ニナルトハ思ハレマ

セスケレドモ、以テ他山ノ石トス

ベキモノト考ヘテ居ルノデゴザイ

マス、此ノ際所得税等ノ脱税防止

ニ付キマシテハ、機構其ノ他ヲ十

分擴充致シマシテ脱税ノナイヤウ

ニ努力メタイト考ヘテ居ル次第デゴ

ザイマス

○苦米地委員長 奥村君、マダ相

當時間アリマスカ

○奥村委員 モウ最後デゴザイマ

タコトハ殆ドゴザイマセヌ、私ニ

十年間稅務官吏ヲヤリマシテ一回

モ其ノ例ヲ聞キマセヌ、唯歴史ニ

ハ明治四十年代ニヤツタコトガア

ルト云フコトダケデゴザイマス、

適用シタコトハゴザイマセヌガ、

今後ハ此ノ罰則ヲ勵行シテ、サウ

シテ脱税ヲ少クスルヤウニ致シタ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

ニナラヌト云フコトニナツテ居リ

マスルガ、是デ以テハ稅ノ適正ガ

タ、不正デナカツタナラバ、所得

ヲ申告シナカツタ場合ニモ是ハ罪

得ラレヌト思ヒマス、我方國ニ

キマシテハ今マデ租税ニ罰則ハ名

ラバ、直接税ニ罰則ハ名

テ、御話トハ日本ハ今マデ實ハ逆

ニ進シテ居ルタ況ニテ、

ス、今後ハサウ云フ方向ヲ換ヘ

テ、脱税防止ニハ本當ニ下カラ盛

リ上ツテ納税スルト云フ氣持ニナ

ツテ戴クヤウニ制度ヲ變ヘテ行キ

タイト考ヘテ居リマス

色々ナ御答辯ヲ戴キ

マシタガ、殘念ナガラ此ノ通貨ノ

非常ナ膨脹ニ對シテ貯蓄ノ確タル

○奥村委員 色々ナ御答辯ヲ戴キ

マシタガ、殘念ナガラ此ノ通貨ノ

非常ナ膨脹ニ對シテ貯蓄ノ確タル

得ラレヌト思ヒマス、我方國ニ

キマシテハ今マデ租税ニ罰則ハ名

ラバ、直接税ニ罰則ハ名

テ、御話トハ日本ハ今マデ實ハ逆

ニ進シテ居ルタ況ニテ、

ス、今後ハサウ云フ方向ヲ換ヘ

テ、脱税防止ニハ本當ニ下カラ盛

リ上ツテ納税スルト云フ氣持ニナ

ツテ戴クヤウニ制度ヲ變ヘテ行キ

タイト考ヘテ居リマス

色々ナ御答辯ヲ戴キ

マシタガ、殘念ナガラ此ノ通貨ノ

非常ナ膨脹ニ對シテ貯蓄ノ確タル

得ラレヌト思ヒマス、我方國ニ

キマシテハ今マデ租税ニ罰則ハ名

ラバ、直接税ニ罰則ハ名

テ、御話トハ日本ハ今マデ實ハ逆

ニ進シテ居ルタ況ニテ、

ス、今後ハサウ云フ方向ヲ換ヘ

テ、脱税防止ニハ本當ニ下カラ盛

リ上ツテ納税スルト云フ氣持ニナ

ツテ戴クヤウニ制度ヲ變ヘテ行キ

タイト考ヘテ居リマス

色々ナ御答辯ヲ戴キ

マシタガ、殘念ナガラ此ノ通貨ノ

非常ナ膨脹ニ對シテ貯蓄ノ確タル

得ラレヌト思ヒマス、我方國ニ

キマシテハ今マデ租税ニ罰則ハ名

ラバ、直接税ニ罰則ハ名

テ、御話トハ日本ハ今マデ實ハ逆

ニ進シテ居ルタ況ニテ、

ス、今後ハサウ云フ方向ヲ換ヘ

テ、脱税防止ニハ本當ニ下カラ盛

リ上ツテ納税スルト云フ氣持ニナ

ツテ戴クヤウニ制度ヲ變ヘテ行キ

タイト考ヘテ居リマス

色々ナ御答辯ヲ戴キ

マシタガ、殘念ナガラ此ノ通貨ノ

非常ナ膨脹ニ對シテ貯蓄ノ確タル

得ラレヌト思ヒマス、我方國ニ

キマシテハ今マデ租税ニ罰則ハ名

ラバ、直接税ニ罰則ハ名

テ、御話トハ日本ハ今マデ實ハ逆

ニ進シテ居ルタ況ニテ、

ス、今後ハサウ云フ方向ヲ換ヘ

テ、脱税防止ニハ本當ニ下カラ盛

リ上ツテ納

方針モナク、又國家ノ租稅收入ニ
於テモ闇或ハ脫稅其ノ他ノ問題ニ
テ相當國民ノ購買力ヲ吸收スル
ト云フコトニ付テ的確ナ力モナイ
ヤウニ思ヒマス、此ノ點モウ少シ
御聽キシタイト思ヒマスガ、殘念
ナガラ大臣モ御忙シイコトデアリ
マシテ、次ノ機會ニ譲ルコトニ致
シマス、是ヲ以テ質問ヲ打切り
マス

ノ倍數ト時價トノ關係ハ、各地方ニ依ツテ餘程違ツテ居リマス、又土地ノ中モ宅地、田畠等ハ各其ノ種類ニ依リマシテ賃貸價格ト時價トノ倍數ガ變ツテ居リマス、隨ヒマシテ、田畠ニ付キマシテハ全國ヲ狀況類似シタ各地區ニ分ケマシテ、サウジテ其ノ地區内ノ時價ト賃貸價格ノ標準トナルベキ土地ノ倍數ヲ決メマシテ、其ノ倍數ニ依テ其ノ地區内ノ田畠ノ時價ト算定致シタイト考ヘテ居リマス、山林ニ付キマシテモ、其ノ素地ニ付キマシテハ斯ク致シタイノデゴザイマスルガ、御話ノ山林ノ評價ト云フノハ立木ノ評價デハナイカト思ツテ居リマス、立木ノ評價ハ上地ヨリ尙ホ一層困難ノ度ヲ増スノデアリマシテ、立木ニ付キマシテハ第一ニ樹種、樹齡ヲ見テ行キタイ、サウシテ又運搬等ノ關係ガアリ、運搬費等ガ非常ニ影響シマスノデ、地理的條件モ考ヘテ行キタイ、又山林ノ素地ノ良イ悪イニ依リマシテ立木ノ評價ガ非常ニ違ツテ參リマスノデ、サウ云フ地理的關係モ考慮シテ決メテ行キタイト思ツテ居リマス、特ニ山林ニ付キマシテハ、森林組合等ノ意見ヲ十分參酌致シマシテ決メタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、原野ニ付キマシテハ、是モ一律ニ決メ得

○原尻委員 賃貸價格ノ倍數で現
在大體公定價格ト云モノガザイマシ
テ、取引ノ標準ト致シマシテハ、
大體賃貸價格ノ三十倍カラ、高イ
地方ニ於キマシテハ六十倍位ヲ決
メテ居ルヤウナ狀況デヨザイマ
ス、今回農地調整法ガ新タニ改正
セラレマシテ、田畠ニ付キマシテ
一定ノ倍數ニ一定ノ報償金ヲ附加
ヘタモノア取引ヲ認メルコトニ相
成ツテ居リマスガ、此ノ農地調整
法デ決メラレマス價格ト財產稅ノ
課稅標準タル價格トガ概不一致ス
ルコトガ適當デアルト考へマヌノ
デ、大體農地調整法ノ價格ニ依ツ
テ決メテ行キタイト思ツテ居リマ
ス、併シ是ハマク政府ノ方針トシ
テハ確定シタ議テハヨザイマセヌ
○原尻委員 所得稅法第十二條ノ
所得ノ計算ニ當リマシテ必要經費
ヲ控除スルヤウニナツテ居リマス
ガ、此ノ必要經費ノ中ニ負債ノ利
子ハ引クト云コトニナツテ居リ
マスケレドモ、稅務署デハ中々之
ヲ認メナインデアリマス、不動產
ヲ買入レル爲ニ出來タ所ノ負債
ハ、此ノ所得ヲ得ル爲ニ必要ナル
マスガ、之ニ對スル御所見ハ如何

○池田(勇)政府委員 所得ハ收入
金ヨリ必要經費ヲ控除シテ定メラ
レルコトニ相成ツテ居リマス、其
ト、其ノ收入ヲ得ルニ直接必要ナ
ル經費デゴザイマス、收入ヲ得ル
ニ直接必要デナイ經費ハ認メテ居
リマセヌ、隨ヒマシテ例ヘ配當
所得ノヤウニ、金ヲ借りテ株ヲ買
ツタト云フ場合ニハ、證明ガツク
限リ必要經費ニ認メテ居リマス、
勿論所得ヲ得ルニ付キマンシテ色々
ナ仕人レ其ノ池デ借金ヲシタ場合
ニ於キマシテハ、是ハ直接收入ヲ
得ルニ必要ナル經費デゴザイマス
ノデ、當然控除シテ居ル筈デアリ
マス、併シナガラ我ガ國ノ所得稅
ハ御承知ノ通り源泉主義ニ據ツテ
居リマスカラ、本當ニ其ノ所得ヲ
得ルニ必要ナ經費デアツカ、或
ハ他ノ經費ノ爲ニ借りタ借金利子
ガ分ラナイト云フヤウナ、不明ナ
場合ニハ體ネ引カナサイコトニ相成
ツテ居リマス

○池田(勇)政府委員 治養費ヲ所得ノ必要經費ト見テ控除シナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、我ガ國ノ所得稅ハ源泉主義デ
拘マヘテ居リマスノデ、一般ノ直接必要デナイトシテ計算スル場合ニハ
コトニ致シテ居リマス、之ヲ若シ
會社等法人ニ對スルヤウニ、資產
ガ增加シタ場合ニ增加シタ資產ヲ
所得ナリトシテ計算スル場合ニハ
凡ユル經費ヲ控除スルノガ適當ダ
ト思ヒマス、併シ個人ノ所得稅ハ
甲ト云フ所得ガアリ、乙ト云フ所
得ガアリ、丙ト云フ所得ガアル、
此ノ甲乙丙ノ所得ソレ自體ヲ拘マ
テ行クノデアリマスカラ、其ノ
所得ニ直接必要ナ經費デナイト引
カナイ建前ニナツテ居リマス、隨
テ若シ療養費トカ結婚其ノ他ノ色
色ナ費用ガ要ツタ場合ニ、其ノ費
用カラ其ノ年ノ所得カラ引クト云
フ建前ヲ採リマスナラバ、個人ノ
所得デモ物ノ値上リトカ色々ナ原
因ニ依ル財產ノ増加ニ對シテ其ノ
増加分ヲ所得トシテ課稅スルト云
フ建前ヲ採ラザルヲ得又ト思ヒマ
ス、隨テ所得ノ計算ヲドウ云フヤ
ウニシテ行クカ、法人ノヤウニ財
產増加主義デ行クカ、所得ノ源泉
ニ依ルカ、此ノ建前カラ自ラ定マ
ルモノト思ヒマスガ、只今ノ所ソ
レデハ個人ニ付テ莫財產増加ヲ所
得ト見テ課稅シテハドウカト云フ
コトニ相成ツテ來ルト思ヒマス
ガ、實際課稅ノ問題トシテハ個人

ノ財産増加分ヲ所得トシテ課税ス
ルコトハ只今ノ所我々モ考ヘテ居
リマセヌ、隨テ其ノ所得ヲ得ルニ

シ得ルモノデモナイト考ヘテ居リ
マス

市制施行地デハ別ニ郡部ニモ設ケ
タ所モアリマスガ、ソレニシテモ

「アメリカ」式ノ民主主義ナリト
宜イ、若シ申告ガ誤ツテ居レバ之
ヲ脱税者トシテ處罰セヨ、是ガ

ガアルト云フコトヲ申告サセレバ
云フガ、其ノ具體案ヲ承リタイノ

デアリマス

直接受要ナ經費以外ノモノハ引カ
ナイト云フ建前ヲ採ラザルヲ得ヌ
ノデアリマス

○原尻委員 稅ヲ納メル者ノ態度
モアリマスガ、公正ナル所ノ供出
ノ割當ヲシタ場合ニ、供出ノ完納

ノ面カラ區別致シマスト不平デ納
メル税、納得シテ納メル税、喜ン
デ納メル税ト云フコトニ分レルノ
デアリマスガ、少ナクトモ納得シ
テ納メル税ニスルコトガ必要デハ
ナイカト考ヘマス、此ノ點カラ所

得税ノ調査ノ問題ヲ御伺ヒ致シマ
ス、現在所得税調査委員ト云フノ
ガアリマス、是ハ有名無實ノ存在
ニアツテ、稅務署ノ責任遺レノ具
ニ過ギナイト考ヘマス、實情ノ分
ツテ居ル者ニ調査サセルト云フ意
味カラ各村ニ一名位ノ調査委員ヲ
置キ、別ニ職業別ノ調査委員ヲ其
ノ程度ニ置ク必要ガアリマス、若
シソレヲシナケレバ、適切ナ調査
ハ出來ナイト考ヘマスガ、當局ノ
御意見ヲ承リタイ

○池田(勇)政府委員 御説ノ通り
租税ハ不平デ納メルノデアツテハ
ナラナイノデアリマシテ、喜ンデ
ナラメルノデアリタイト考ヘテ居リ
マス、隨テ其ノ方ガ公定價格以上ニ
高ク物ヲ賣ラレテ所得ガアツタ
モノトシテ十分ニソレニ課税スベ
バ食糧緊急措置令ハ要ラナイデヤ
ナイカト云フ御質問デゴザイマス
ガ、私ハ課税バカリデ十分供出ヲ

裁判所ガ各地ニ設ケテアリマス、
ラ十三人程度ニナツテ居リマス、

○原尻委員 是ハ農林省トノ關係
ヲシナイ者ニ對シテハ閣ヲシタル
モノト看做シテ闇相場デ以テ之ニ
課税スルト云フコトハ租税ノ性質
ニハ反スルカモ知レマセヌガ、之

ニ依ツテ食糧緊急措置令ヲ殲スル
コトガ出來レバ其ノ方ガ宜ノデ
ハイカト思ヒマスガ、大宜省ノ
議論ガゴザイマシタガ、閣ヲシタ
御考ヘハドウデセウカ

○池田(勇)政府委員 午前中ニモ
ト云フコトニナリマシテ、今ノ稅
ガアリマス、是ハ有名無實ノ存在
ニアツテ、稅務署ノ責任遺レノ具
ニ過ギナイト考ヘマス、實情ノ分
ツテ居ル者ニ調査サセルト云フ意
味カラ各村ニ一名位ノ調査委員ヲ
置キ、別ニ職業別ノ調査委員ヲ其
ノ程度ニ置ク必要ガアリマス、若
シソレヲシナケレバ、適切ナ調査
ハ出來ナイト考ヘマスガ、當局ノ
御意見ヲ承リタイ

○池田(勇)政府委員 御説ノ通り
租税ハ不平デ納メルノデアツテハ
ナラナイノデアリマシテ、喜ンデ
ナラメルノデアリタイト考ヘテ居リ
マス、隨テ其ノ方ガ公定價格以上ニ
高ク物ヲ賣ラレテ所得ガアツタ
モノトシテ十分ニソレニ課税スベ
バ食糧緊急措置令ハ要ラナイデヤ
ナイカト云フ御質問デゴザイマス
ガ、私ハ課税バカリデ十分供出ヲ

カ、ソレト調査員ヲ殲ヤサル、ト
シ得ルモノデモナイト考ヘテ居リ
マス

税務署ノ決定ニ對シマシテ不服アツタナラバ税務署ニハ参リマセヌ、租税裁判所ヘ直グ参リマス、税務署ハ其ノ租税裁判所ノ判決ニ依リマシテ、誤謬ガアレバ訂正致シマス、又追徵スペキモノガアレバ追徵スルト云フ制度ニ相成ウテ居ルノデアリマス、御参考ニ附加テ申上ゲテ置キマス

○原尻委員 今思フ通りニ實行サレナイト云フ御話デアリマスガ、ソレハドウ云フ意味デゴザイマスカ

○池田(男)政府委員 一寸速記ヲ止メテ下サイ

○吉澤委員長代理 速記ヲ止メテ…

〔速記中止〕

○池田(男)政府委員 先程來度々
のニ閣ニハ課稅シテ居ナイト云フ
リマス、一般國民ハヨク間違ヒ易
イノデアリマスガ、閣ニハ課稅シ
ナイト云フノハ、法制的ニ申上ゲ
テ居ルコトデゴザイマスカラ御諒
體範圍率ニナツテ居リマス、何圓
カラ何圓マデ、サウシテ稅務署長
思ヒマス、併シ實際ノ標準率ハ大
承ヲ願ツテ置キマス、勿論標準率
ハ原則トシテ一本デ行クベキダト
ガ其ノ範圍内ニ於テ個々人ニ適
用シテ行クコトニ相成ツテ居リマ
シテ、東京都内ノ方ノ烟ノ一反ノ
所得ニ致シマシテモ、麥ヲ主作ト
スルヤウナ烟ニ付キマシテハ餘程
低ク、又麥ヲ植付ケナイ一般蔬菜
ノ烟ニ付キマシテハ相當一反當リ
ガ高クナツテ居リマス、斯ク致シ
マシテ植付毎ニ標準率ヲ變ヘル、
而モ標準率ハ概ネ範圍率ニナツテ
居リマス、稅務署長方適當ニ其ノ
個々ノ人ニ適用スルコトニ致シテ
居ルノデゴザイマス

九十九圓ノ平均率ハ各財務局ガ其ノ管内ヲ平均致シマシテ、其ノ平均ヲ反別割ニヤツタノデゴザイマス、算術平均ニ致シテ居リマス、其ノ財務局ノ算術平均ヲ大藏省デ更ニ平均ニシタノガ百九十九圓デゴザイマス
○原尻委員 反當平均デハ當テニナラナイト考ヘルノデアリマス、ソレデ大體中等程度ノ畑地ト水田トノ標準率ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス
○池田(勇)政府委員 畑ノ全國平均ノ標準率ハ百九十九圓ニ相成ツテ居リマス、併シ東京都内デハ先程申上ゲマシタヤウニ一反二千圓位ニ本年ノ所得ヲ決メタノモアリマス、又一反二千五六百圓カラ三千圓位ノモゴザイマス、又蜜柑畑ニ付キマシテハ一反六千圓位デ決メタノモアルト思ヒマス、林檎畑、葡萄畑、各作付ノ種類等ニ依リマシテ、實情ニ副フタヤウニ標準率ヲ決メテ居ル次第ゴザイマス、田ニ付キマシテハ、一反三百四十五圓ノ全國平均ト相成ツテ居リマス、田ノ方ハ米ヲ主ニ致シマシテ、二毛作ヲ致シマシテモ、其ノ収穫物ハ芋カ麦デゴザイマシテ、大シタコトハゴザイマセヌ、隨テ田ニ付キマシテハ、全國的ノ幅ガマシテハ作物ニ依リマシ餘程違ヒマス、平均ハ百九十九圓デアリマス

スガ、實際ニ當ルト非常ニ高低ガ度ノ標準率ハ幾ラデスカ
○池田(勇)政府委員 大體三百二十圓位ニ相成ツテ居リマス
○原尻委員 稲作ノ土地ノ中等程度ノ標準率ハ幾ラデスカ
○池田(勇)政府委員 平均率デスカ
イマス
○原尻委員 私ノ御伺ヒ致シテ居リマスノハ平均デハナクシテ中等程度ノ水田ノ標準デス
○池田(勇)政府委員 田ノ中等程度ノ標準率ハドウナツテ居ルカト云フ御話デゴザイマスガ、ドノ程度ノモノヲ中等ト見タラ宜シイカ、小作料ガ一反デ八斗乃至九斗位ヲ中等程度ト見マスナラバ、太體三百二、三十圓程度ニ相成ツテ居リマス
○原尻委員 今ノ問題ハドウモ懶底シナイ感ジガ致シマスケレドモ、昭和二十一年度ハ賃貸價格ノ改訂ノ時期ニナツテ居リマシン、金納ニナリマシタノデ、今マデ通りノヤウナ方法デ賃貸價格ヲ御決定ニナルノカドウカ御伺ヒシマスデゴザイマスガ、只今ノ賃貸價格ハ昭和十一年カラ調査ヲ始メシテ、サウシテ昭和十一年前五箇年間ノ米價ノ平均二十四五十錢ニ根柢ヲ置イテ決メテ居リマス、田ニ

付キマシハ、全國的ニ申シマス
バ殆ド米納デ全納ハ、一二割ト考ヘテ居リマス、畑ニ付キマシテハ
ス、而シテ農地調整法ガ實施セラレ、又財產稅ヲ施行致シマシテ、
六、七割ガ金納デゴザイマシテ、物納ハ三、四割ト考ヘテ居リマス
カ、或ハ小作人ノ手ニ歸シマシタ時ニ、土地ニ對スル所謂質貸價格ニ
依ル課稅ガ實情ニ合フカドウカト云フコトハ、或ハ別ト考ヘ
ト云フコトハ疑問デアルト思フノアリマス、大正十五年カラ行ヒ
マシタ質貸價格ニ依ルカ、或ハ別ト考ヘ、上治初年カラ大正十五年マデ行ハ
マシタ地價制度ニ依ルカ、或ハ其トコトヲ能ク見概メテ考フベキ重
ナ問題ダト思ツテ居リマス、今後
一、二年後ノ土地所有者ノ變遷状況、利用狀況カラ篤ト研究シテ此
メタイト考ヘテ居リマス

達フ、二級酒ノ方ノ引上方ヲ少クシテ、一級酒ノ方ノ引上方ヲ多クスベキデハナイカト云フ御議論デシ兼ネマス、一級酒ト二級酒トノ比較ノ差ハ極ク少イノデアリマス、「アルコール」分ガ一級酒ハ十六度、二級酒ハ十五度デアリマス、原「エキス」ニ至リマシテモノ級酒ハ三十度、二級酒ハ二十七度半、品質ニ於テハ殆ド差ガナインデアリマス、ソレガ現在二十三圓ト十五圓ノ差デゴザイマス、而シテ之ヲ御説ノ通リニ若シ一級酒ヲ三倍ニシ二級酒ヲ二倍ニシタト致シマシレバ、二級酒ハ三十圓、一級酒ハ七十圓ニモ相成ルコトトナルノデアリマス、而シテ又斯カラシマシテモ一級酒ト二級酒トノ配給ハ飲ム人ノ好ミニ應ジテ配給シテナイ現在ノ狀況デアリマスルカラ、私ハヤハリ其ノ差ハ小賣價格四十圓、三十圓位ノ差ニ持ツテ行クノガ適當デアルカト考ヘテ居リマス、此ノ思想ハ酒バカリニ限ラズ、砂糖ニ致シマシテモ、清涼飲料ニ致シマシテモ、今ノ實情カラ今ノ價格カラ割出シテ税率ヲ決メル、斯ウ云フコトニ今後ノ稅制改正ハ行ツテ居ルノデアリマス

○原尻委員 農家ガ米ヲ作リマシテヤツト食フダケ自家保有米トメル、斯ウ云フコトニ改正ハ行ツテ居ルノデアリマスノ供出シタ米ニ依ツテ作ツタ酒アリマスガ、其ノ酒屋ノ自家保有シ兼ネマス、私ハソレニハ贊成致ス、原「エキス」ニ至リマシテモノ級酒ハ三十度、二級酒ハ二十七度半、品質ニ於テハ殆ド差ガナインデアリマス、ソレガ現在二十三圓ト十五圓ノ差デゴザイマス、而シテ之ヲ御説ノ通リニ若シ一級酒ヲ三倍ニシ二級酒ヲ二倍ニシタト致シマシレバ、二級酒ハ三十圓、一級酒ハ七十圓ニモ相成ルコトトナルノデアリマス、而シテ又斯カラシマシテモ一級酒ト二級酒トノ配給ハ飲ム人ノ好ミニ應ジテ配給シテナイ現在ノ狀況デアリマスルカラ、私ハヤハリ其ノ差ハ小賣價格四十圓、三十圓位ノ差ニ持ツテ行クノガ適當デアルカト考ヘテ居リマス、此ノ思想ハ酒バカリニ限ラズ、砂糖ニ致シマシテモ、清涼飲料ニ致シマシテモ、今ノ實情カラ今ノ價格カラ割出シテ税率ヲ決メル、斯ウ云フコトニ改正ハ行ツテ居ルノデアリマス

○池田(勇)政府委員 只今申上シテ、一級酒ハ少イ何トカ殖ヤシシテ貰ヒタイマス、今正確ナ數字ハ覺エテ居リマセス、ソレハ一番低イ所デゴザイマシテ、五百石トカ千石、或ハ大キイ所ハ二千石五千石作ツテ居リマスガ、其ノ百分ノ四或ハ五ハ造石高ノ多クナルニ從ツテ率ヲウント低減致シテ居リマス

○原尻委員 農家ノ作リマシタ米ノ保有量ハ、消費者ノ消費スル米トノ比較ニ於テ大シテ違ヒハナイノデアリマスガ、此ノ酒造家ノ自リマス、百石造レバ五石ノ保有量ノ多クナルニ從ツテ率ヲウント低減致シテ居リマス

○池田(勇)政府委員 遊興飲食稅デアリマスガ、十圓マデ無稅ト云フノヲ免稅點ヲ五十圓位ニ引上ガル御意思ナナイカ、御伺ヒ致シタイ

○池田(勇)政府委員 只今ノ所免稅點十圓ト云フシタ、只今ノ所免稅點十圓ト云フノヲ引上ガル考ヘハ持ツテ居リマス

○原尻委員 所得稅ノ問題ニ戻リセヌ

○池田(勇)政府委員 次ニ印紙稅法ニ付テ御伺ヒシマスガ、印紙稅法ハ只今中止ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ中止ニナツタ理由ニモアリマス通り、非常ニ手數ノ掛カル割合ニ收入ガ少イ、デアリマスカラ此ノ際之ヲ廢止スルコトガ國民ノ爲ニモ非常ニ便利デアルト考ハマシ、政府トシテモ大シタ收入ガナイナラバ廢止サレテハ如何デアリマスカ

○池田(勇)政府委員 御話ノ如ク

量ト云フモノハ相當アルヤウニ考

ヘマスガ、ドノ程度ニ酒屋ノ自家

少ク決メ、又其ノ後ノ狀況カラ申

ス、此ノ酒ハ勿論酒類製造家ノ主

人ガ飲ムバカリデハゴザイマセ

マス

ト云フ陳情ヲ能ク聞クノデアリマ

ス、此ノ酒ハ勿論酒類製造家ノ主

人ガ飲ムバカリデハゴザイマセ

マス

ス、昔カラ酒ヲ造ツテ居ル工場内

ニ於キマシテハ、藏人ガ相當使用

スルコトヲ常トシテ居リマスノ

マス、今正確ナ數字ハ覺エテ居リ

マセスガ、大體造石高百石ニ對シマシテ四五石カト思ヒマス、而モソレハ一番低イ所デゴザイマシテ、五百石トカ千石、或ハ大キイ所ハ二千石五千石作ツテ居リマスガ、其ノ百分ノ四或ハ五ハ造石高ノ多クナルニ從ツテ率ヲウント低減致シテ居リマス

マス

クト思フノデアリマス、而シテ之ヲ餘り嚴格ニ致シマストソコニ又抜ケル所ガアリマスノデ、是ハヤハリ其ノ度ヲ餘程考ヘナクテハイケナイト思ツテ居リマス、是ハ多過ギテハ困ルガ、又一面少ナ過ギテモ困ルト云フコトデ、酒ノ少クナルニ連レマシテ段々引締メテ居ルト云フ狀況デゴザイマス

マス

○原尻委員 對シテハ保有米ヲ差引イタ残リノ供出ニ強權發動ヲシテ居ルノデアリマスガ、酒ノ量ニ對シテモ或ル程度以上ノモノニ對シテハ強權發動程度ノコトヲサレテハ如何カト考ヘマスガ、御伺ヒ致シタイ

マス

○原尻委員 對シマシテハ強權ノ發動ヲナサナクテモ常ニ監督ヲ致シテ居リマス、隨ヒマシテ自家用酒ノ分量ガ不適當デアルト云フ場合ニハ、特シテシマシテハ強權ノ發動ヲナサナクテモ常ニ監督ヲ致シテ居リマス、是ハ中止ニナツテ居ルヤウデアリマス通り、非常ニ手數ノ掛カル割合ニ收入ガ少イ、デアリマスカラ此ノ際之ヲ廢止スルコトガ國民ノ爲ニモ非常ニ便利デアルト考ハマシ、政府トシテモ大シタ收入ガナイナラバ廢止サレテハ如何デアリマスカ

度ニアツタト思ヒマス、今ノ現状

カラ甲シマスト酒屋ハ非常ニ是デ

ハ少イ、何トカ殖ヤシシテ貰ヒタイ

マス

ト云フ陳情ヲ能ク聞クノデアリマ

ス、此ノ酒ハ勿論酒類製造家ノ主

人ガ飲ムバカリデハゴザイマセ

マス

ス、此ノ酒ハ勿論酒類製造家ノ主

シテ印紙稅法其ノ他ハ法律ヲ停止致シタノデゴザイマスガ、其ノ中デモ印紙稅ト云フモノヲナゼ停止シタカト申シマスト、アノ當時ハ印紙ノ印刷ガ非常ニ困難ニナリマシテ、印紙稅法ヲ施行致シマシテモ貼ル印紙ガナイ、斯ウ云フ狀況デアリマシタノデ、戰時中デモアリ止メタヤウナ次第デアリマス、併シナガラ是ハ戰後第一ニ復活スペキモノト考ヘマシテ、今回復活ノ法案ヲ提出致シテ居ル次第ゴザイマス、收入モ大體印紙稅ハ六千萬圓位ニナツテ居ルト記憶シテ居リマス

國稅徵收交付金ガ此ノ令書一枚ニ付テ何ボト云フ風ニサレ居リマス、此ノ國稅徵收金ノ支出歳出モノ事務モソレダケ簡単ニナリマシテ一舉兩得ト考ヘマスガ、御當局ノ意見ヲ御伺ヒシマス

○池田(勇)政府委員 登錄稅ハ先程問題ニナリマシタ印紙稅ト同ジヤウニ財產權ノ得喪變更ヲ生ズル書面トカ、財產權ノ變更消滅ヲ登錄スル場合ニ課稅致シマス流通稅デゴザイマス、隨テ相續ノアツタモ是ハ相續ガアツタ云フコトヲ場合ニハ御說ノ通りニ千分ノ五ノ課稅ヲ致シテ居リマス、飽クマデニ對シテ課稅スルト云フコトハ登記簿ニ載セルヨコトニ依ツテ課稅スル稅デアリマス、隨テ相續ノアツタコトヲ登記簿ニ載セナイ行爲サンノ名前ノ土地、オ父サンノ名前ノ土地ガ澤山アル、非常ニ徵稅ニモ困ルカラ何トカシロ、斯ウ云バ其ノ儘ニ放ツテ置イテハオ祖父ガ、併シは登錄稅ノ改正トハ別ノ問題デゴザイマシテ、別個ノ方面カラ考ヘナケレバナラヌト思ツテ居ルノデゴザイマス

○荻田政府委員 地方團體ノ財政ニ對シテ彈力性ヲ持タセル爲ニ、附加稅ノ制限率ヲ緩メタラト云フ御意見デゴザイマスルガ、主トシテ三國稅附加稅ニ付テ申上ダメスルルト、今回提案致シテ居リマスルヤウニ、許可ノ標準率ヲ百分ノ百、道府縣モ市町村モ引上ゲテ居ルノデアリマシテ、ソレ以上附加稅致シマスコトハ、其ノ二割ニ相當スル部分ハ法定ノ費目、例ヘバ學校ノ建築費デアルトカ、災害復舊ニ要スル費用、斯ウ云フモノニ對シマシテハ其ノ法定ノ標準率ノ二割タケハ許可ガナクテ取レル譯デアリマシテ、ソレ以上ノモノハ内務省、大藏省ノ許可サヘアレバ、幾ラデモ取レルト云フ法制上ノ建前ニナツテ居リマスノデ、彈力性ノ爲ニ、附加稅ノ制限率ヲ緩メルト云フコトハ既ニ實現サレテ居ルモノダト我々ハ考ヘテ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマスガ、此ノ勤勞所得稅ノ改正ニ付キマシテ仔細ニ
檢討シテ見マスルト、官公吏、與校教職員、或ハ警察官其ノ他一般
ノ俸給生活者ガ生活ノ崩壊ヲ來ヌ
虞ガ十分ニアルノデヤナイカト私ハ考ヘルノデ、此ノ點ヲ御伺ヒシ
タイト思フノデアリマス、政府ノ月案ニ依リマシテ檢討ヲシテ見タ
ノデアリマスルガ、此ノ勤勞俸給生活者ノ中堅層ハ殆ド大半ガ綜合
所得稅ヲ重課セラレルコトニナル謂デアリマス、是ガ爲ニ是等ノ俸
給生活者ハ非常ニ生活ノ維持ガ困難トナリマシテ、生活ノ崩壊ヲ來
ス虞ガ十分私ハアルト思フノデアリマス、政府ハ果シテ此ノ中堅以上ノ勤勞俸給生活者カラ徵稅ガ出来得ルカドウカ、出來ル見透シガアルカドウカト云フコトヲ一應私ハ御同ヒシタイト思ヒマス

労所得者モ昭和二十年ニ比べマス
ト二十一年ノ俸給ハ相當額エテ居
ルノデアリマス、物價ノ上昇工合
程ハ積エテ居ナイカモ知レマセヌ
ガ、今回ノ増稅ニ依ツテ勤務所得
者ノ生活力差向キ崩壊スルトハ私
ハ考ヘテ居リマセヌ、又崩壊シナ
イ程度ニシカ增稅シテ居ナイノデ
ゴザイマス、御話ノ如ク今勤勞所
得者ハ非常ニ所得ガ殖エテ來タ、
是デ行ケバ綜合所得稅方掛カルダ
ラウ、斯ウ云フ御話デゴザイマス
ルガ、綜合所得稅ハ昨年ノ實績ニ
依ツテ、本年課稅致シ居ルノデ
ゴザイマスカラ、昨年一萬圓以上
ノ俸給所得ノアル人ハ、本年ニ於
キマシテモ當然課稅シテ然ルベキ
ダト思ヒマス、然ラバ本年増額ニ
ナツタ勤勞所得ガ、來年ニナツタ
ラ一萬圓ヨリ超エル部分ガアルカ
ラ、其ノ人ハ來年ニナツテ崩壊シ
ヤシナイカ、斯ウ云フ問題ニナル
カモ知レマセヌガ、私ハ今ノ國情
カラ致シマシテ一萬圓以上ノ勤勞
所得者ハ一萬圓ヲ超エル金額ニ對
シマシテ三十五「パーセント」程
度ノ負擔ハ適當デハナイカト思ヒ
マス、併シ今後ノ狀況ニ依ツテ非
常ナ物價騰貴ヲ來シ而モ尙ホ一萬
圓チヨツト超エル位ノ人ニ綜合所
得稅ヲ課稅スルコトハドウカト云
フ問題ニナリマスト、是ハ來年ノ
稅制改革デ考フベキ點ダト思フノ
デアリマス、勤勞所得ニ對スル綜
合所得稅ハ前年ノ實績デゴザイマ

ウナルカニ依ツテ一級事務官、二級事務官、三級事務官、雇等ノ俸
級ヲ決メテ居ルノアリマス、隨テ今ノ稅法デ申シマシテモ、御話
ガ破滅ニ陥ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、サウシテ今ノヤウナ
稅制デハ生活保護法ニ括入ツテ行クデアラウト言ハレルノアリマ
スガ、生活保護法ニ依ル給與金ハ一人ニ對シテ五十圓デゴザイマ
ス、五人家族ニ二百五十圓ヲ豫算ニ見積ツテ居ルダケデアリマシ
テ、勤労所得ガ今程度デアルカラト云ツテ、國民ガ皆生活保護法ノ
適用ヲ受ケル方面ニ走ルトハ考ヘテ居リマセヌシ、又リウ云フ風ニ
ナルコトハイケナイコトデアラウテ、サウ云フ風ニナラナイヤウニ
稅ニ付テモ考慮致シテ居ルノアリマス

今七十二圓デアツテモ十七億五千
萬圓ノ稅額控除ニ相成ツテ居リマス
ス、百圓ニ致シマストモウ七億五
千萬圓位殖エマス、サウシマスト
事業所得ト勤勞所得ニ對シマシテ
増稅シタ今回ノ増加ガ、扶養家族
ノ控除七十二圓ヲ年百圓ニシマス
ト吹ツ飛ンデシマフ、斯ウ云フ狀
況デアリマスノデ、扶養家族ノ控
除ヲ今引上ゲルト云フコトハ今度
ノ稅法ノ改正ニ於テハ考ヘ得ラ
ナイ、却テ減收ニ相成ルト云フ次
第デアルノデアリマス

ドウカト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、若シコニニ夫婦ト子供三人ノ家ガアリマシテ一萬圓ノ俸給ヲ取ツテ居ル人ガアリマスレバ、此ノ人ハ明カニ一人ガ百五十圓デアリ、稅ヲ徵ラ云フ御見解ウニハツキリト思ハレルノデアリマス、之ニ對シテドウ云フ御見解ヲ持ツテ居リマスカ

○池田(勇)政府委員 夫婦子供三人デ五人ノ家庭デハ一萬圓ノ俸給ガアルトシマスレバ、大體ヤツテ行ケルト考ヘテ居リマス

○鈴木(憲)委員 サウ云フ空然トシタ御話デハ洵ニ困ルノデアリマシテ、オ互ヒ俸給生活者ガ眞剣ニ考ヘテ居ル所ナノデアリマシテ、年收一萬圓デ家旅五人暮シデアリマスト、月收八千三百三十圓、ソレデ分類所得稅、綜合所得稅ヲ徵ラレテシマヘバ、一人當リノ生活費ガ百五十九圓、此ノ百五十九圓都市ニ於テ生活ガ出來得ルヤ否ヤト云フコトハ是ハ私ガヨ、デ喋々ト申サナクテモ天下周知ノコトダトハ思フノデアリマス、サウ云フ面ニ立ツテドウカ政府デハ今度ノ勤勞所得稅法ノ一部ニ於テ改正ノ面ヲ訂正シテ戴キタイト云フ念願ヲ強ク持ツ者デアリマス、次ニ今度ノ綜合所得稅ノ稅率デアリマスガ、此ノ稅率ヲ見マスト、上ニ行ク程改正シタモノハ安クナツテ居

ル、十二萬圓位マデ大體同ジデア
リマスガ、二十萬圓ヲ超エマスト
今度ノ新シイ税率ハ舊税率ヨリズ
ツト安クナツテ居ル、是ハドウ云
フ譯デアリマスカ

○池田(勇)政府委員 所得百圓當
リノ負擔税率ガ、所得ノ多イ方ガ
其ノ多イ割合ニ應ジテ澤山負擔ス
ル、斯ウ云フ建前デ出來テ居リマ
ス、御話ノ階級區分ニ依ル間差ガ
一萬圓ヲ超エルモノハ百分ノ三十
五、一万五千圓ヲ超エルモノハ百
分ノ四十、斯ウナリマシテ間差ハ
上ノ方ニ行クト四間差、三間差ニ
ナツテ居ル、斯ウ云フコトヲ御示
シシテアルト思フノデアリマス、
此ノ點ハ綜合所得稅ノ負擔ノ
「カーブ」ノ見方デゴザイマス、從
來ノ所得稅ニ於キマシテモ下ノ方
ハ八間差、中頃ハ七間差、上ノ方
ハ六間差、斯ウ云フ風ニ相成ツテ
ナルヤウニハ致シテ居リマセヌ

○鎌木(憲)委員 次ハ物品稅ニ付

テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、物

品稅ノ品目ノ並べ方デアリマス、

ガ、第一種甲類ノ一番初メ及ビ

二、三、四、五番目等ハ私ハ是ハ

丙類ノ方ニ改ムベキデハナイカト

考ヘルノデアリマス、或ハ斯ウ云

フ國歩艱難ナ時デナケレバ免稅ニ

サルキベモノデハナイカ、一番政

府ガ重稅ヲ徵ラウトスルモノヲナ

ゼサウ言フカト中シマスト、其ノ

活動ノ源泉ノ一助トシテ斯ク云ツ

理由ハ我が國ノ國策ノ今後ノ行ク

ベキ向キガ全然從來ト反對ニナツ

テ來ダト云フ立場カラ私ハ考ヘル

ノデアリマス、詰リ我ガ國ノ究極

ノ目的ト云フモノガ文化國家ノ建

設デアルト云フコトニナリマスレ

バ、國民ノ文化向上ノ開拓面ニ對

シテ、政府ハ國民ニ少シヅツデモ

ノデアリマス、所ガ稅法ハ非常ニ

將來ヘノ我國ノ向キ方ヘノ希望

ヲ持タセナケレバナラナイト思フ

ノデアリマス、所ガ稅法ハ非常ニ

民主的ニスルト云フヤウナコトヲ

聲明シテ居リナガラ、內容ニ於テ

ハ、此ノ品目ノ並べ方等ニ付テハ

依然トシテ戰爭當時ト同ジナノデ

アリマス、軍國主義的ナ、國家主

義的ナ立場カラ見テ居ツタ稅ノ課

シ方ト同ジデアツテ、私ハ斯フ云

フ風ニ國家ガ革命期ニ面シ、尙ホ

文化國家ヲ建設シヨウト云フヤウ

ナ時ニ民主主義的ナ見方ニ物品ノ

意味ヲ持タセナケレバナラヌト思

モノヲ大體落着イタラバ、相

中ノ確物デゴザイマシテ、經濟機

構ガ安定シ國民生活ノ安定ガ期シ

タノデアリマス、御話ノ通り物品

稅、遊興飲食稅等ハ事變或ハ戰爭

ゲル、斯ウ云フ程度ニ止メテ居ツ

心配ナモノヲ持ツテ居ルノデアリ

マス、ソレハ從來國庫補助ニ依ツ

テ支給サレテ居ツタ青年學校教職

員ノ俸給デアリマス、是ガ私ノ考

ヘル所ニ依レバ、斯ウ云フ經濟ノ

變革朝代モアリ、國家ガ非常時ニ

心配ナモノヲ持ツテ居ルノデアリマス、

是ガ私ノ考ヘル所ニ依レバ、斯ウ云フ經濟ノ

變革朝

局ノ方カラ指令モ出テ居リマスシ、今度殊ニ七月以降根本改正ガ行ハレマスト相當統制的ナ規定モ出来マスノデ、其ノ監督ノ方に依リマシテ青年學校ノ國庫補助金ヲ廢止シタ代リニ折角支ヘタ財源ガ他ニ流用サレナイヤウニ努メタイト思ヒマス、殊ニ是ハ全然新シク俸給ヲ出スト云フノアリマセヌデ、從來ヤツテ居リマシタ俸給費ノ財源ヲ唯振替ヘタダケデアリマスカラ、此ノ振替ニ依リマシテ直チニ待遇ガ悪クナルト云フコトハ我々トシマシテ起ラナイモノト考ヘテ居ル次第アリマス〇鈴木(憲)委員 青年學校ノ先生ノ待遇ガ悪クナルト云フコトハ、私ハ全然考ヘテ居リマセヌ、非常ニ好クナルノダト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯地方農山村ニ於テ國民學校ノ先生ハ國庫負擔法ニ依ツテ決メラレテ來ルノデ問題ハナイノデアリマスガ、同ジ町村ニ生活ヲシテ居リマス青年學校ノ先生ハ其ノ地方カラ貰フ、ソレハ今御話ノ如ク今後教育ガ地方分權的ニナレバナル程町村ノ負擔ノ負ウバキモノデアルコトハ確カデアルノデアリマスガ、併シナガラ此ノ過渡期ニ於キマシテハ、從来アツタ例デアリマスシ、殊ニ教育者ハ非常ニ弱カツタト云フヤウナ立場カラココデ弱イモノニサレルノヂヤナイカ、村ノ所謂類役或ハ村會議員等ニ才辭儀ヲシナケレ

ベ俸給ガ支拂日カラ延ビタリ、或
ハ村ノ財政ガオ前達ノ知ツデ居ル
通リコンナニ窮乏シングカラ一時
他ニ廻スカラト云フコトガ往々起
リ易イ地方財政ノ困難ナ過渡期ダ
ト思フノデアリマスサウ云フ場
育ニ非常ニ大キナ影響ヲ持ツモノノ
合ニ強カルベキ教育者ガ非常ニ弱
腰ニナルト云フコトハ村ノ青年教
育ニ非常ニ大キナ影響ヲ持ツモノノ
デアリマスシスルノデ、何トカモ
ウ少シハツキリシタ名目ヲ此ノ費
用ニ付ケラレナイモノデアリマセ
ウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

官吏一般ニ對シマセバ、今回七月カラ改
正ガゴザイマスルガ、此ノ改正ノ改
結果、ヤリ方ニ付キマシテ、ソレ
ゾレ本省ノ方カラ監察員ヲ出シテ
監査スル、斯ウ云フ話ガ進行シテ
居リマスノデ、其ノコトダナイカ
ト思ヒマス
○鈴木(憲)委員 其ノ點ニ付キマ
シテハ十分政府ニ於テ御研究ヲ願
ヒタイト思フモヤマデアリマス、以
上ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス
○宮澤委員長代理 次ハ喜多幹
郎君

○池田(勇)政府委員　租稅力經濟
諸原則ニ適合シナケレバナラナイ
ト云フコトハ、古來カラ言ハレテ
居ル租稅原則ノツデゴザイマ
ス、併シ其ノ意味ハ經濟活動ヲ阻
碍シテハイカヌ、資本或ハ營業所
得ノ元本ニ食入ツテハイカヌ、斯
ウ云フ意味デアリマシテ、租稅が
積極的ニ是レノノ仕事ヲ助ケテ
行クヤウナ役割ヲシナケレバナラ
メト云フコトハ、租稅原則ノ専
デアルト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、隨テ只今ノ租稅制度ガ、中小
商工業者ニ對シテ非常ニ酷ニ的ツ
ニ優遇シテ居ルカト云フ場面ハ租
稅制度ニハゴザイマセヌ、併
シテ私ノ關スル限りニ於キマシニ
ハ、只今ノ租稅制度ガ中小商工業
者ニ非常ニ邪魔ニナラメヤウニド
ウ云フ風ナ方策ヲ取ツテ居ルカト
云フコトヲ申上ゲマスト、今ノ制
度デハ、中小商工業者ノ所得ノ減
少シタ場合ニハ、假令實績課稅ニ
依ルノデアルケレドモ、特例ト致
シマシテ營業ニ對スル所得稅ノ輕
減ヲスルトカ、或ハ法人組織デモ
當局ノ抱懷スル租稅政策ヲ承りタ
イモノト思ヒマス

使フト云フヤウナ方法ヲ取ツテ居リマス、又今回改メマス個人ノ臨時利得税ノ廢止、是ハ中小商工業者ノ保護ト申シマスルカ、或ハ大營業者ノ保護ト申シマスルカ、少クトモ中間ノ方ノ營業者ニハ相當ノ特典ダト考ヘテ居ルノデアリマス、今回ノ増稅ニ於キマシテモ、資產所得ヨリハヤハリ營業所得等ニ於テハ負擔力ガ少イ、斯ウ云フ觀點ノ下ニ、資產所得ヲ百分ノ七上ガル場合ニ、營業所得ニ付キマシテハ百分ノ四ノ引上方ニ止メ、即チ勤勞所得ノ百分ノ二ニ近ク致シテ居ルノデアリマス、又營業稅ノ引上ニ付キマシテモ、地方稅ノ財源タル三收益稅ニ於テ、地租ニ於テ百分ノ一、家屋ニ付キマシテ百分ノ一上ガテ居リマスルガ、營業稅ニ付キマシテハ百分ノ〇・五ニ止メ、中小商工業者ニ苛酷ニ當ラナイヤウニ今回ノ稅制デモ努力タ次第デゴザイマス

從來勤勞所得ニ於キマシテハ八、事業所得ニ於キマシテハ二十二、懸隔ノ付イテ居ルノハ異存ハアリマセヌガ、今回ノ引上ニ付キマシテ、勤勞所得ノ倍額ノ四ニセラレマシタル點、並ニ控除額ニ於テ勤勞所得ノ面ニ於テ六百圓ノモノヲ四倍上ダマシテ二千四百圓トナリ、事業所得ニ對シテハ從来ノ控除額四百圓ニ對シテ三倍デアルト云フ點ニ對シマシテ、中小商工業者、將來ノ國運ヲ伸展セシムベキ最も重要ナル地位ニアル商業者ニ對シテ斯ノ如ク世界各國同率ノ勤勞所得稅ニ比較致シマシテ倍額、控除額ニ非常ナル等差ヲ付ケラレマシタ點ニ付キマシテ、商工業者ニ對シ酷ナル増稅デナカラウカト思ツテ、此ノ點主稅局長ノ明快ナル御答辯ヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

ダト思フノデアリマス、隨ヒマン
テ、勤勞所得ノ負擔ト事業所得ノ
負擔トハ、今年度ニキマシテハ
百分ノ二十百分ノ二十五程度デ
適當デハナイカト考ヘテ居リマ
ス、基礎控除ノ引上ガニ付キマシ
テ、三月ニ勤勞所得八月五十圓ヲ
二百圓、事業所得ハ年四百圓ヲ千
二百圓、即チ勤勞ハ四倍ニシ、事
業ハ三倍ニシタ、片手落チデハナ
イカ、斯ウ云フ御話デアリマス
ガ、不動産所得ニ付キマシテハ免
稅點百五十圓ヲ三百圓ニ、倍ニシ
カ致シテ居リマセヌ、勤勞所得ハ
四倍、事業所得ハ三倍、資產所得
ハ二倍ニ、斯ウ云フ風ナ考ヘ方
デ各倍數ヲ掛ケルノガ適當デアル
ト信ジテ居ルノデアリマス、殊ニ
營業所得ニ對シマシテハ、前年ノ
實績デゴザイマス、勤勞所得ハ本
年ノ所得ニ課稅スルノデアリマ
ス、其ノ點モ考慮ニ入レマシテ、
勤勞所得ノ方ノ引上ガ倍數ヲ多ク
スルノガ適當ト考ヘテ、斯ク致シ
テ居ルノデアリマス、勤勞所得ト
事業所得トガ、單ニ所得稅ノミナ
ラズ、所謂三收益稅、營業稅マデ
ヲ加ヘテ適當ナ負擔ナリヤ、其ノ
間ノ調節ガ能ク出來テ居ルカドウ
カト云フコトハ、議論ノ分レル所
デアリマス、我ガ國ニ於キマシテ
ハ資產所得ト勤勞所得ト事業所得
ニ付キマシテハ盡然ト區別ヲシテ
ヤツ、テ居ルノデアリマスガ、勤勞
所得者方面ノ聲ハ、勤勞ガ重稅ダ

ト言ハレルシ、又中小商工業關係ノ方ハ、中小商工業ニ酷ニ當ルノ辯ニ依リマシテ、私ハ勤勞所得ト事業所得ニ付テ異論ヲ申上ガテ居ルノデハアリマセヌ、唯今回ノ増税ニ對シマシテ、倍額ハ比較的ニ多いノデハナカラウカト云フコトヲ申上ガタ譯デアリマス、只今ノ答辯ニ依リマシテ或ル程度ノ承致シマスルガ、之ニ對シマシテ尙ホ御尋ネ申上ガタイコトハ、然ラバ中小商工業者ノ取扱ヒ、商品ノ價格形成ニ付テ、此ノ増税ニ對スル負擔増ニ對シマシテ、中間「マージン」ニドノ程度ノ考ヘフ持ツテ居ラレルカト云フコトヲ御尋ネ申上ガタイト思フノデアリマス

○池田(勇)政府委員 中小商工業者ノ取扱ハレ商品ノ所謂「マージン」ト云フモノハ、取引ノ状況、又各商品ニ依ツテソレバ、違ハナケレバナラヌト思フノデアリレバナラヌ、或ハ營業純益方殖エマシテ、所得ハ同ジデアツテモ、

増税ニナツタカラ所得ガ殖エナケレバナラヌ、私ハ今ノ國情カラ申シマセヌ、私ハ今ノ國情カラ申シト思フノデアリマスルガ、私ハ只今ノ日本ノ税制竝ニ今回ノ増税ノ致シ方ハ、大體現在ノ國情ニ副ツテ居ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

國民ガ出來ルダケ生活ヲ切詰メテ
行ツテ、此ノ稅狀ヲ乗リ越エルト思
云フ考ヘ方デナケレバナラヌト思
フノデアリマス、稅ガ殊ニ直接稅
ガ殖ニタカラ、各營業者、各勤勞者
所得者ノ所得ガ殖エルヤウニシモ
ケレバナラヌト云フコトハ、間接稅
稅ト直接稅トノ違ヒデゴザイマシ
テ、直接稅ニ於キマシテハ、重稅
ニナツカシト云ツテ、必ズシモ
所得額ヲ殖ヤサナケレバナラヌト
云フコトハナインデゴザイマス、
是ガ「インフレ」ノ防止等ニ間接稅
稅ヨリモ直接稅ガ役立ツト言ハレ
ル所以デアリマシテ、私ハ此ノ點
ハ篤ト御諒承願ヒタイト思フノデア
リマス、稅ガ高クナツカト所
得ヲ殖ヤセ、是ハ惡循環ノ因デア
リマス、御話ノ中小商工業者ノ商
品ノ「マージン」ヲドウ見ルカト
云フコトハ、個々ノ取引、個々ノ
商品ニ付テ決メベキ問題デアリマ
ス、而シテ又所得稅ガ多クナツカ
カラ其ノ「マージン」ヲ殖ヤサナ
ケレバヤツテ行ケナイト云フコト
ハ、私ハ考ヘテ居リマセヌ

ル處ガ多分ニアルト思フノデアリ
マス、資本ノ適正ナル蓄積ニ付キ
マシテ、如何ナル考ヘ持ツテ居
ラレルカト云フコトヲ、御伺ヒフ
致シタイノデアリマス

○池田(勇)政府委員 所得ノ蓄積
ハ國民經濟ノ發達カラ申シマシ
テ、洵ニ望マシイコトデゴザイマ
ス、併シ遺憾ナガラ只今ノ状況ト
致シマシテハ、所得ノ蓄積ヲ望ミ
マジテモ、中々得フレマセヌ、所
得ノ蓄積ヲ望ムドコロカ、國家全
體カラ申シマスト、過去ノ蓄積ヲ
モ消費シナケレバ相成ラヌ状況ト
ナツテ居ルメアリマス、私ハ增
稅ガ所得ノ蓄積ヲ阻碍スルト云フ
コトハ能ク判ツテ居リマスガ、今
ノ状況ト致シマシテハ、増稅ヲシ
ナケレバ申々ヤツテ行ケナイ、蓄
積ドロカ、今マデノ蓄積ヲ消耗
シテ行ツテ居ルヤウナ状況デアル
ノデアリマス、出來ルダケ早ク減
稅ヲシ、資本ノ蓄積ヲ益シ多カラ
ラ只今ノ所資本ノ適正ナ蓄積ニ對
シマシテノ方法ハ今少シ時ヲ藉リ
マシテ、平靜ニナツテカラ考ヘテ
行カナケレバナラヌ問題デ、只今
ノ所、私共トシテハ方法ヲ持合セ
テ居ナイ状態デゴザイマス

○喜多委員 尚ホ主稅局長ニ御尋
ネヲ申上ガタイト思フコトハ、最
近封鎖預金ノ方法ニ付キマシテ、

ヲ分離セラレルヤウニ承ツテ居リマスガ、此ノ第二封鎖ヨリ財産税或ハ各種租税ノ支拂ヒヲ承認セラレル御意思カ否ヤト云フコトヲ、参考ニ承リタイト思フノデアリマス

○池田(勇)政府委員 换價ノ打切等財界ノ整理ニ因リマシテ、其ノ結果ガ銀行預金ニ影響ヲ及ボスコトハ、承知致シテ居リマス、併シ其ノ結果ガ銀行預金ニ及シング場合ニ、如何ニ取扱ソカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ遺憾ナガラ此處ニ御話申上ガル自由ヲ持ツテ居リマセヌ、併シ何レニ致シマシテモ、課稅ノ對象トナリマシタ封鎖預金カラ納稅ヲ認メルコトガ當然デアルト思フノデアリマス、御話ノニナツタ限度ニ於テ、其ノ封鎖預第一封鎖預金ト云フモノガ、全額課稅ノ對象ニナリマスレバ、サウシテソレガ實ノアル預金ナラバ、第一封鎖預金デ勿論財產稅、或ハ本年ノ所得稅等ノ納稅ヲ認メナケレバナリマセヌ、而シテ又御話ノ如ク凍結サレタ第二封鎖預金ト云フモノガ若シアツタ致シマシタ場合ニ、前年ノ所得ニ對シマスルカ本年ノ課稅、即チ綜合所得稅ヤ或ハ營業稅ニ付キマシテハ、前年ノ所得ニ對スル課稅デアリマスルカラ、其ノ預金ガ如何ニ封鎖セラレ

コトハ當然ダト思フノデアリマス、又財産税ノ問題ニ付テ、サウコトガ問題デゴザイマスガ、若シ課税ノ対象ニナツタナラバ、其ノ対象ニナツタ限度ニ於テ其ノ預金カラ財産税ノ納付ヲ認メルノハ當然デアルト思ヒマス、隨テ繰返シテ申シマスガ、假令或ル預金ガ強度ノ封鎖ヲ致サレマシテモ、其ノ預金ガ財産税課税ノ対象ニナルナラバ、対象ニナツタ限度ノ稅額ヲ其ノ預金カラ納稅スルコトハ當然認ムベキモノト考ヘテ居リマス、何分ニモ預金ガ如何ナル恰好デ封鎖サレルカガ分リマセヌシ、サウ云フ射鎖預金ニ對シテ財産税ヲ課スルカ課シナイカト云フコトモ申上ガラレマセヌガ、對象トナツタ限度デ、對象物カラ納稅ニ充テルコトハ理論上當然ト考ヘテ居ルノデアリマス

ハ餘程困難ナ問題ト思ヒマス、東京ニ於テ一般ノ住宅ハ、十年位前マデハ坪百圓ト云ヘバ相當立派ナ住宅デゴザイマス、ソレガ今日我々ノ調査ニ依リマスト、昨年八月十五日以前、詰リ終戦前六箇月ノ平均ニ依リマスト、東京都内ノ或ル區ノ家屋ノ賣買ノ實例デハ、坪當リ八百二十圓ニナツテ居リマス、最近聞ク所ニ依リマスト殆ド一バラック一式ノ家ヲ建テルモノニモ坪四、五千圓モ掛カルト聞キ及シテ居ルノアリマス、三月四日ノ東京都内ニ於ケル家屋ヲ如何ニ評價スルカ又財産稅ノ評價ニ於テ最モ困難ナ問題ノツデアリマス、終戰前ノ賣買實例ヲ最モ強ク考ヘ、又終戰後殊ニ三月五日後ノ狀況ヲドノ程度ニ加味スルカノ問題ハ、是ハ我々存デハ決メ得ラレマセヌノデ、財產稅法ガ通過致シタナラバ、大藏省ノ財產稅審議會ト云フ民間競ニ貴衆兩院カラノ有力者、學識經驗者ノ才集リノ會ニ篤ト相談シテ決メタイト思ツテ居リマス、農村ニ居ケル家屋モ相當程度騰貴シテ殊ニ市制施行地或ハ普通ノ市街地成ルト思ヒマスノデ、今後篤ト研究シテ行キタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○大石政府委員　只今喜多サンノ御質問ハ御本職ノ御質問デ、素人ノ私答辯甚ダ不十分カモ知レマセヌガ、今民間ニ於ケル密造ニ對シテノ農林省ノ處置及び態度ニ對シテ御質問テアラウト有ジマス、農林省ト致シマシテハ主食糧ノ逼迫シテ居ル、殊ニ米ノ非常ニ缺乏シテ居ル今日、密造ハ絶対ニ好マシカラザルコト存ジテ居ルノアリマス、勿論是等ノ防止取締リハ大蔵省ガ主タル責任ノ立場ニゴザイマスノデ、必ズヤ相當ノ取締リテシ、其ノ防止、絶滅ヲ講ゼラレツ、アルコト存ズルノアリマス、從來事變中公然釀造ヲ認メラレテ居リマシタ清酒、濁酒ガ、漸次釀造石數ヲ減ラサレマシテ、事變前ニ於ケル釀造高ノ殆ド今日ハ七、八分ノニ過ギナイ狀態デアリマス、所ガ「アルコール」成分ニ對スル國民ノ要求ハ之ニ反シテ決シテ減退セズ、配給ニ於テモ不十分デアル、窮屈デアルト云フト同時ニ、益々「アルコール」ニイノデアリマス、斯ウ云フヤウニ醸造方面方非常ナノ届ニナリマス對スル國民ノ要求ガ盛シニナリマシテ、遂ニ密造等ガ行ハレルコド

ノデアリマス、是ガ申々法律ヤ尋常一樣ノ手段ヲ以テ防止、絶滅スルコトノ困難デアルコトハ喜多委員ノ能ク御存ジノ通リデアリマス、ソレデ若シ出來得ルナラバ食糧問題サハ許セバ、大イニ公然ノ醸造業ヲ増加致シマシテ、密造ト云フコトハ致サナクテモ聞ニ合フト云フコトニ導クコトガ國策トシテ必要ナノデハナイカト考ヘテ居リマス

○喜多委員　サウ致シマスト、農林省トシテ酒類ノ絶對必要性ニ付テハ十分御認メヲ願ツテ、主食糧ノ許ス範圍内ニ於テ清酒ヲ造ラシメナケレバナラスト云フ考ヘテ固クオ持チニナツテ居ルト信ジテ宜シイデアリマセウカ

大石政府委員　私ハ政務次官ノ責任ニ於テ將來之ヲ確保スルト云ブコトハ一寸申上ゲ難イノデアリマスガ、私個人ノ考ヘ方ニ於キマシテ、又國策上サウスベキモノナリト云フ固キ考ヘハ今日ニ始マツタコトデハゴザイマセヌ、「アメリカ」ノ禁酒ノ實例ニ徴シマシテモ、「ロシア」ニ於ケル質績ニ鑑ミシシテモ、亦醸造量ノ漸減シテ居リマス今日ノ國狀ニ照ラシマシテモ、是ハ唯一箇ノ嗜好物デアルカラト云フヤウナ輕々シ考ヘ方ヲ以テ解決スルコトハ出來ナモノデアル、モツト國策のニ重要視スベキモノデアルト云フ考ヘ方

ヲ持ツテ居リマス、唯ソレヨリモ

モツト重要ナ國民ノ主食ガ不足致シテ居リマス以上、之ヲ醸造ニ廻

スト云フコトハ困難デアリマスカラ、本年ノ食糧事情ガ許シマス

ルナラバ私ハ斯ウ云フモノハ農林省ト云フヤウナモノノ間接的防止

助力スペキモノノアルト云フコトヲ堅ク考ヘテ居リマス

○喜多委員 酒ト食糧トノ關聯性ニ付キマシテハ更申スマデモナ

イ譯デ、特ニ農林省ハ御専門ノ立場デイラツシヤイマスカラ駄辯ヲ

弄スル必要ハアリマセヌガ、酒ニ

使用セラレマスル米カラ致シマシ

テ清酒ノ道程マデニ於キマシテハ可ナリ副産物ノアルト云フコト

十分御認メ置キヲ願ヒタイト思フ

ノデアリマス、玄米一石ニ對シマシテ、赤粕、中白粕ハ約一斗五升、白米ガ八斗五升カラ出來マス

清酒一石四斗ト云フコトニナリマス、其ノ中酒粕ガ十二貫取レルノ

デハナカラウカト恩フノデアリマス、尚ホソレヨリ燒酎ガ一斗取レ

マスルシ、燒酎粕カラ肥料、食酢ガ出來ルト云フヤウナ見解ノ下

ニ、食糧問題ニ對シマスル酒ノ製造ハ實ニ食糧ノミナ使用スルモノ

デナイ、併セテ副産物的ニ相當ノ食糧ノ出來ルト云フコトヲ御認識ヲ賜リマシテ十分農林省、大藏省御協力ノ下ニ來二十二酒造年度ノ

醸造石數ニ對シマシテ御配慮ヲ要

○喜多委員 酒ト食糧トノ關聯性ニ付キマシテハ更申スマデモナ

イ譯デ、特ニ農林省ハ御専門ノ立場デイラツシヤイマスカラ駄辯ヲ

弄スル必要ハアリマセヌガ、酒ニ

使用セラレマスル米カラ致シマシテ清酒ノ道程マデニ於キマシテハ可ナリ副産物ノアルト云フコト

十分御認メ置キヲ願ヒタイト思フ

ノデアリマス、玄米一石ニ對シマシテ、赤粕、中白粕ハ約一斗五升、白米ガ八斗五升カラ出來マス

清酒一石四斗ト云フコトニナリマス、其ノ中酒粕ガ十二貫取レルノ

デハナカラウカト恩フノデアリマス、尚ホソレヨリ燒酎ガ一斗取レ

マスルシ、燒酎粕カラ肥料、食酢ガ出來ルト云フヤウナ見解ノ下

ニ、食糧問題ニ對シマスル酒ノ製造ハ實ニ食糧ノミナ使用スルモノ

デナイ、併セテ副産物的ニ相當ノ食糧ノ出來ルト云フコトヲ御認識ヲ賜リマシテ十分農林省、大藏省御協力ノ下ニ來二十二酒造年度ノ

醸造石數ニ對シマシテ御配慮ヲ要

○喜多委員 酒ト食糧トノ關聯性ニ付キマシテハ更申スマデモナ

イ譯デ、特ニ農林省ハ御専門ノ立場デイラツシヤイマスカラ駄辯ヲ

弄スル必要ハアリマセヌガ、酒ニ

使用セラレマスル米カラ致シマシテ清酒ノ道程マデニ於キマシテハ可ナリ副産物ノアルト云フコト

十分御認メ置キヲ願ヒタイト思フ

ノデアリマス、玄米一石ニ對シマシテ、赤粕、中白粕ハ約一斗五升、白米ガ八斗五升カラ出來マス

清酒一石四斗ト云フコトニナリマス、其ノ中酒粕ガ十二貫取レルノ

デハナカラウカト恩フノデアリマス、尚ホソレヨリ燒酎ガ一斗取レ

マスルシ、燒酎粕カラ肥料、食酢ガ出來ルト云フヤウナ見解ノ下

ニ、食糧問題ニ對シマスル酒ノ製造ハ實ニ食糧ノミナ使用スルモノ

デナイ、併セテ副産物的ニ相當ノ食糧ノ出來ルト云フコトヲ御認識ヲ賜リマシテ十分農林省、大藏省御協力ノ下ニ來二十二酒造年度ノ

醸造石數ニ對シマシテ御配慮ヲ要

○喜多委員 酒ト食糧トノ關聯性ニ付キマシテハ更申スマデモナ

イ譯デ、特ニ農林省ハ御専門ノ立場デイラツシヤイマスカラ駄辯ヲ

弄スル必要ハアリマセヌガ、酒ニ

使用セラレマスル米カラ致シマシテ清酒ノ道程マデニ於キマシテハ可ナリ副産物ノアルト云フコト

十分御認メ置キヲ願ヒタイト思フ

ノデアリマス、玄米一石ニ對シマシテ、赤粕、中白粕ハ約一斗五升、白米ガ八斗五升カラ出來マス

清酒一石四斗ト云フコトニナリマス、其ノ中酒粕ガ十二貫取レルノ

デハナカラウカト恩フノデアリマス、尚ホソレヨリ燒酎ガ一斗取レ

マスルシ、燒酎粕カラ肥料、食酢ガ出來ルト云フヤウナ見解ノ下

ニ、食糧問題ニ對シマスル酒ノ製造ハ實ニ食糧ノミナ使用スルモノ

デナイ、併セテ副産物的ニ相當ノ食糧ノ出來ルト云フコトヲ御認識ヲ賜リマシテ十分農林省、大藏省御協力ノ下ニ來二十二酒造年度ノ

醸造石數ニ對シマシテ御配慮ヲ要

○喜多委員 酒ト食糧トノ關聯性ニ付キマシテハ更申スマデモナ

イ譯デ、特ニ農林省ハ御専門ノ立場デイラツシヤイマスカラ駄辯ヲ

弄スル必要ハアリマセヌガ、酒ニ

使用セラレマスル米カラ致シマシテ清酒ノ道程マデニ於キマシテハ可ナリ副産物ノアルト云フコト

十分御認メ置キヲ願ヒタイト思フ

ノデアリマス、玄米一石ニ對シマシテ、赤粕、中白粕ハ約一斗五升、白米ガ八斗五升カラ出來マス

清酒一石四斗ト云フコトニナリマス、其ノ中酒粕ガ十二貫取レルノ

デハナカラウカト恩フノデアリマス、尚ホソレヨリ燒酎ガ一斗取レ

マスルシ、燒酎粕カラ肥料、食酢ガ出來ルト云フヤウナ見解ノ下

ニ、食糧問題ニ對シマスル酒ノ製造ハ實ニ食糧ノミナ使用スルモノ

デナイ、併セテ副産物的ニ相當ノ食糧ノ出來ルト云フコトヲ御認識ヲ賜リマシテ十分農林省、大藏省御協力ノ下ニ來二十二酒造年度ノ

醸造石數ニ對シマシテ御配慮ヲ要

○喜多委員 酒ト食糧トノ關聯性ニ付キマシテハ更申スマデモナ

イ譯デ、特ニ農林省ハ御専門ノ立場デイラツシヤイマスカラ駄辯ヲ

弄スル必要ハアリマセヌガ、酒ニ

使用セラレマスル米カラ致シマシテ清酒ノ道程マデニ於キマシテハ可ナリ副産物ノアルト云フコト

十分御認メ置キヲ願ヒタイト思フ

ノデアリマス、玄米一石ニ對シマシテ、赤粕、中白粕ハ約一斗五升、白米ガ八斗五升カラ出來マス

清酒一石四斗ト云フコトニナリマス、其ノ中酒粕ガ十二貫取レルノ

デハナカラウカト恩フノデアリマス、尚ホソレヨリ燒酎ガ一斗取レ

マスルシ、燒酎粕カラ肥料、食酢ガ出來ルト云フヤウナ見解ノ下

ニ、食糧問題ニ對シマスル酒ノ製造ハ實ニ食糧ノミナ使用スルモノ

デナイ、併セテ副産物的ニ相當ノ食糧ノ出來ルト云フコトヲ御認識ヲ賜リマシテ十分農林省、大藏省御協力ノ下ニ來二十二酒造年度ノ

ミニ限ラズ殆ド生活必需品ニ近イ物ニモ課稅致シテ居ル質情デゴザイマス、併シ是ハ飽クマデ節約シ得ル、斯ウ云フ所マデ行ツテ居ルノデアリマス、然ラバ平和日本建設、將來ノ問題カラ云ツテ斯ウ云フ純然タル奢侈品以外ノ生活必需品ニ近イモノハ止メテハドウカ、斯ウ云フ御意見デアリマスルガ、出來ルダケ早イ機會ニ斯カル生活必需品ニ近イヤウナモノハ止メタイト云フ氣持ヲ持ツテ居リマス、而シテ罐詰トカ「バター」トカ「ソース」トカ是ガ生活必需品ニ極ク近クテ課稅ニナラナイ奢侈品デナイカト云フ問題ニナリマスト非常ニ難カシイノデアリマシテ、奢侈品ト、奢侈品ニ近イモノト、生活必需品ニ近イモノト、純然タル生活必需品トガ分レマスルガ、其ノ四ツノ間ノ區別ト云フコトハ中々困難デゴザイマス、併シ只今ノ説明ハ第二ト致シマシテモ物品稅ニ掲ゲテアリマスル中デ、生活必需品ニ近イヤウナモノカラ先ヅトツ拂ヒタイ、課稅外ニ置キタイト云フ氣持ヲ持ツテ居ル次第ゴザイマス

ニ對スル適正課稅ノ用意アリヤト
云フコトヲ御尋ネ致シタイノデア
リマス、勿論自由市場ニ對シテ今
回執ツテ居ラレマスル内務省ノ政
策如何ニ依ツテ喋々スペキ筋合デ
アルト思フノデアリマスケレド
モ、尙ホ其ノ政策如何ニ拘ラズ自
由市場ト云フモノハ或ル程度殘存
スルノデハナカラウカト云フ見解
ノドニ意見ヲ申述べタイト思フノ
デアリマス

○池田(勇)政府委員　自由市場ニ
對シマスル所得稅等ノ課稅或ハ物稅品稅等ノ課稅ニ付キマシテハ、
我々トシテモ非常ニ苦慮致シタノ
デアリマス、何トシテモ中々捷
ニクウゴザイマス、所々ニ依リマス
シテ質情ニ副フヤウニ課稅致シテ
居ルト思フノデアリマスルガ、東
京デハ財務局ノ報告ニ依リマスト
大體自由市場ノ業者ハ甲、乙、丙
ノ三段階ニ分ケマシテ、甲ハ日ニ
幾ラ、乙、丙ハ幾ラト云フ風
ニ、赤、青、黃ノ切符ヲ出シマシ
テ、サウシテ札元ガ其ノ金額ヲ各
營業者カラ毎日取集メシテ、サ
ウシテ其ノ金額ヲ札元ガ納メル、
斯ウ云フ制度ヲ各自由市場ノ幹部
其ノ他業者ト協定致シマシテ徵稅
シテ居ルヤウナ状況デアリマス、
物品稅等ニ付キマシテモ、ヤハリ
業者團體ト課稅標準其ノ他ヲ協定
シマシテ、徵稅ニ努メテ居ルガ
ウナ次第デゴザイマス

防止スルコトガ最モ必要ナコトニ
ナカラウカト思フノデアリマス、
ソレニハ稅官吏ノ生活ヲ保障シ、
物質的ニ優遇ノ途ヲ講ジ、更ニ有能
ノ人材ヲ起用シ、執務能率ノ増進ヲ
進フ岡ルコトガ肝要ト思ハレル、
デアリマス、本問題ニ付キマシテ
ハ、断片的ニ主税局長ヨリ御意旨
ガ出テ居ル譯デアリマスルガ、重
ネテ本問題ハ財産稅ノ徵收等最
國民ト致シマシテ、公平ナル課稅
ニ依ツテ人心ノ安定ヲ致サナクテ
ハナラナイト云フ必要ニ迫ラレタ
今日、具體的ノ御方策ガアリヤ不
ヤト云フコトヲ御伺ヒ致シタイノ
デアリマス

稅務官吏ヲ澤山置クコトガ稅務ノ民主化ニ一一番貢獻スルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ稅務機構ノ強化ニ付キマシテハ、何ト申シマシテモ今最も心配シテ居ルノハ素質ノ低下デアリマスノデ、私ハ今マテ稅務ニ經驗ガアルリ色々ナ世間ノコトニ慣レタ立派ナ人ヲ出來ルダケ澤山稅務官廳ニ採入レタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、財產稅ノ提案ト前後致シマシテ、全國的ニ有能ナ士ヲ千名或ハ二千名稅務官廳ニ入レタイ、サウシテ財產稅或ハ今回ノ增稅ノ實施ニ當ツテ戴キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス

イ、又ソレニ付キマシテハ裏打ヲ
スルト云フコトデ推シ進メタイト
云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○喜多委員 然ラバ内務大臣ニ對
シマシテ重ネテ青空市場ガ舊來ノ
如ク復活フシナイト云フ確乎タル
御方針ノ下ニ進メテ居ラレルト云
フ風ニ解釋シテ差支ヘゴザイマセ
ヌカ

○大村國務大臣 只今ノ通リニ考
ヘテ居ル次第デアリマス

○喜多委員 以上ヲ以チマシテ私
ノ質問ハ打切ルコトニ致シマス
○吉米地委員長 本日ハ之ヲ以テ
質疑ヲ打切りマス、茲ニ御報告ヲ
致スコトガアリマス、委員飯田義
茂君ガ辭任サレマシテ其ノ補闕ト
シテ太田鉄太郎君ガ議長ヨリ委員
ニ指名サレマシタ、此ノコトヲ御
報告致シマス、尙ホ明日午前十時
カラ會議ヲ開キマスカラ、左様御
承知ヲ願ヒマス、是ニテ散會致シ
マス

午後四時二十二分散會